

【今月の主な内容】

- | | | | |
|----|-------------------|----|-----------------------------|
| 3 | 復興状況見学会開催のお知らせ | 18 | やまもとホットニュース |
| 7 | 災害義援金の追加配分のお知らせ | 26 | 私の津波体験～あの時、私は～ |
| 9 | 役場本庁舎解体のお知らせ | 28 | 第9回やまもと食育フェア |
| 11 | 心をひとつに！山元町ふれあい産業祭 | 32 | くらしの情報 |
| | 平成23年度 決算公表 | 38 | さよなら山下第二小校舎
別れを惜しみ「お別れ会」 |



『目の前で、サケのお腹から…』
(関連記事18ページ)

山元町都市計画審議会委員をお知らせします

山元町都市計画審議会は、都市計画法の規定に基づき、都市計画行政の円滑な運営を図るために設置されています。委員は、学識経験者、町議会の議員、住民の代表により構成され、委員数は条例により11人とされています。平成24年10月1日付けで下記の委員を委嘱し、任期は2年間となります。委員の互選により、委員長には日下俊直さんが選任されました。

山元町都市計画審議会委員名簿

区 分	氏 名	区 分	氏 名
学識経験者 (5人)	横 尾 一 夫	町議会議員 (3人)	岩 佐 哲 也
	阿 部 孝 幸		竹 内 和 彦
	佐 藤 孝 治		後 藤 正 幸
	高 橋 建 夫	住民の代表 (3人)	三戸部 義 春
	日 下 俊 直		横 山 真理子
			佐 藤 作智栄

☎ まちづくり整備課 施設整備班 ☎ 37-5111 (内線764)

「復興状況見学会」開催のお知らせ

町では、復興まちづくりに関心のある方や新市街地への移転(または利用)を検討している方を対象に、町の復興状況をご覧いただく見学会を開催します。

見学会では、町が今後整備する予定の新住宅団地およびトマト・イチゴ生産施設、防潮堤の復旧工事の状況をご覧いただく内容となっており、「山元町の今」と「これからの復興」を実際に確認することができます。参加人数に限りがありますので、ご希望の方はお早めにお申し込みください。

■ 日 時 11月17日(土)

【午前の部】 9時30分～正午

【午後の部】 13時30分～16時

※同内容を2回実施。

※申込者多数の場合、今後の開催について適宜検討してまいります。

■ 対象者 復興まちづくりに関心のある方
新市街地への移転(または利用)を検討している方

■ 定 員 各30人

※バス定員の都合により、定員になり次第締め切らせていただきます。

見学工程

タイムスケジュール		内 容
午前の部	午後の部	
9:30	13:30	役場第2仮庁舎大会議室集合 (9:35/13:35出発)
9:40	13:40	トマト・イチゴ生産施設(20分)
10:05	14:05	新山下駅周辺造成団地予定地(20分)
10:40	14:40	防潮堤工事場所(20分)
11:10	15:10	新坂元駅周辺造成団地予定地(20分)
11:40	15:40	役場到着(アンケート回収・解散)

☎ 震災復興企画課 ☎ 37-0497



☎ 事業計画調整室
29 8 0 0 4

■ 中央公民館
12月6日(木)～9日(日)
■ 坂元支所
12月13日(木)～16日(日)
※坂元支所では、寄せられた作品の一部を展示する予定です。

「こんな町に住んでみたい」絵画展を開催します
7月下旬から8月下旬にかけて、町内の小学4年生から中学3年生までを対象に、「こんな町に住んでみたい」をテーマに絵画作品を募集したところ、490点もの作品が寄せられました。
これらの作品には、子どもたちの町に対するたくさんの思いが詰まっており、明るい未来の山元町の姿が描かれています。
今回、次の場所で開催します。ぜひご覧ください。

新駅周辺地区において都市計画が決定されます

町では、まちづくりの基本的な構想に基づき、土地利用、都市施設、面的整備などの計画を総合的・一体的に定め、住みよいまちをつくり上げていくため、新山下駅周辺地区および新坂元駅周辺地区について都市計画を定めることとしました。

新しい市街地をつくる区域では、区域内の整備事業として「津波防災地域づくりに関する法律」に基づく制度を利用し、新山下駅周辺地区および新坂元駅周辺地区を津波により浸水しない安全な高さまでかさ上げします。また、津波が発生した場合においても、都市機能を維持するための防災拠点施設をはじめ、交通施設や住宅用地、業務施設などを集約的に配置して拠点市街地を形成していくこととなります。

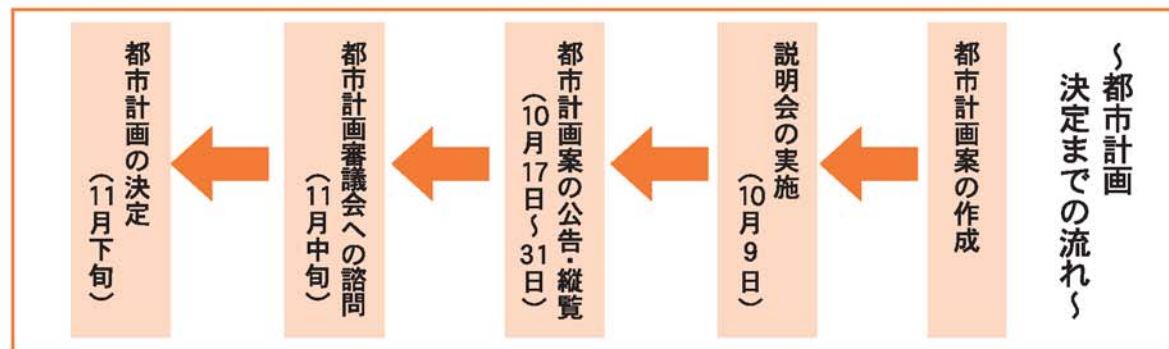


説明会の様子(山下中学校)

として新山下駅周辺地区は38・2ha、新坂元駅周辺地区は9・6haの整備を予定していることや、それぞれの区域内に整備する住宅施設や幹線道路、公園、鉄道用地など、新市街地としての機能を確保するための施設の配置お

☎ 事業計画調整室
29 8 0 0 4

よび面積について、図面で示しながら説明しました。
説明会で成田副町長は、「都市計画決定は、町のこれからの復興の新市街地をつくるために重要なことであり、これには住民の皆さんの意見をお聞きし、その意見を反映させながら計画を策定したい」と述べ、参加者の皆さんに理解と協力を求めました。
本計画については、先月17日(水)から31日(水)までの期間に、役場および坂元支所等で縦覧を行います。期間中に縦覧に寄せられた意見書については、今後取りまとめ、今月中旬に開催する都市計画審議会(次ページ参照)に提出し、審議内容に反映させる形で今月末に都市計画決定を行う予定です。
なお、都市計画決定後の詳細なまちづくりについては、今後「復興まちづくり協議会」でご意見をいただき、反映していくこととされています。



都市計画決定事項

都市計画決定事項は次のとおりです。

- | | | | | |
|---------|-------|---------|---------|-------|
| ○都市計画区域 | ○住宅施設 | ○地区幹線道路 | ○公園 | ○交通広場 |
| ○鉄道用地 | ○調整池 | ○公益的施設 | ○特定業務施設 | など |

※市街地としての機能を確保するため、これらの施設の配置および面積が都市計画決定されます。

心をひとつに



チーム山元



復興へのあゆみ

シリーズ 「安全な工事のために」②

今月号は、東日本高速道路㈱から、「常磐自動車道建設工事」についてお知らせします。

現在、山元ICから福島県境間(延長11.2km)は、山元工事と坂元工事の2工区で、切盛土工(道路を平坦にするため、地盤の掘り下げや土を盛ること)、コンクリート構造物、排水関係などの工事をほぼ全線にわたり展開しています。

一部の橋梁下部工(橋台、橋脚工事)およびボックスカルバート(鉄筋コンクリートで造られたトンネル)が完成し、下部工が完成した箇所から順次、橋梁上部工(橋台と橋台の間を道路でつなぐ)工事に着手していきます。

東日本大震災により、工事の進捗に影響があったものの、当初の予定どおり平成26年度の開通を目指して工事を進めています。

今後も大型ダンプの往来により、町民の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、交通ルール・マナーを遵守するとともに、交差箇所には交通誘導員を配置して事故ゼロに努めますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。



山元IC付近の大型クレーンでの工事



中山地区の坂元1号橋の下部工



大型特殊車両がボックスカルバートを造ります



大型ダンプが出入りする箇所には誘導員を配置するなど、安全対策を徹底しています(鷲足地区の土取場入口)

詳しくは、東日本高速道路(株)東北支社 仙台工事事務所(☎022-248-4501)までお問い合わせください。来月号では、「国土交通省 海岸堤防復旧工事」についてお知らせします。

☎ まちづくり整備課 施設管理班 ☎ 37-5111(内線781)

シリーズ 「農地復旧」⑤

1 現在の工事実施状況(平成24年10月20日現在)



2 農地の復旧方法

(1) 農地への石灰資材の散布

湛水または降雨での除塩を効果的に行うため、田には炭酸カルシウム、畑には硫酸カルシウム(石こう)を100kg/10a散布します。散布を希望しない場合には、その旨、下記までご連絡をお願いします。

(2) 公共事業予定農地の復旧工事

公共事業用地となる見込みの農地については、復旧工事の対象から除外する場合があります。

ただし、1筆(1枚)の農地の一部だけが公共用地となり、その部分のみを対象から外して復旧工事を行うことができない場合は、1筆全てを工事対象としますのでご了承ください。(復旧工事後、公共事業用地となります)

復旧工事を行うため池の位置図



3 ため池の災害復旧工事

町では、東日本大震災で被災した下記11カ所のため池の復旧工事を、農地復旧工事にあわせて、10月から平成25年3月末までに実施します。工事中は、周辺道路を作業用のダンプ等が往来します。

近隣の皆さんには、工事期間中ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

	名称	行政区	所在地
1	前田北ため池	八手庭	山元町八手庭字前田
2	山崎ため池	鷲足	山元町鷲足字山崎
3	下宮前2ため池	浅生原	山元町浅生原字下宮前
4	田中ため池	高瀬	山元町高瀬字田中
5	石山ため池	高瀬	山元町高瀬字西石山原
6	大久保ため池	高瀬	山元町高瀬字大久保
7	釜1ため池	真庭	山元町真庭字釜下
8	蛙館ため池	久保間	山元町坂元字蛙館
9	沢沢ため池	中山	山元町坂元字沢沢
10	大森下ため池	磯	山元町坂元字大森下
11	磯作ため池	磯	山元町坂元字磯作

☎ 産業振興課 農地整備班 ☎ 37-1119(内線235)

平野復興大臣が

本町の復興に対する取り組みを紹介

9月14日(金)、首相官邸で開催された第4回復興推進委員会の議題となった平成24年度中間報告(案)「復興の課題と対応する取り組み」において、「理念とスピードを両立させた地域づくり」の一例として、本町の新山下地区市街地整備への取り組みが次のとおり紹介されました。

【一文抜粋】

地域づくりの過程においては、将来の日本のモデルとなるような地域産業のあり方や地域包括ケアのあり方を先駆的に取り組むべきである。ハード

面だけでなく、地域のなりわいやくらしというソフトの視点を取り入れる議論がなされるべきである。

こうした「理念」にこだわること、スピード感をもって復興を進めることが必要である。多様な意見を取り入れる中で「ベター」の積み重ねがベストになる」という考え方を取り入れ、速やかに合意が整った地区の工事を先行させることも必要である。

例えば、宮城県山元町新山下地区においては、JR常磐線の移設に伴い設置する新駅

と町役場の間の市街地について、事業手法を変更して、駅周辺に防災拠点や災害公営住宅を整備することとした。近隣の町役場周辺と防災集団移転地を一体化して、拠点市街地を迅速に整備する選択を行ったのである。

※復興推進委員会とは：

復興庁に置かれた有識者会議で、国の行う東日本大震災からの復興事業について調査・審議し、政府に対して提言を行うことを任務とする。委員には、村井県知事をはじめ、被災県の知事のほか、内閣総理大臣が任命した各種団体の有識者など15人で構成される。

1日も早い町復興に向け 齋藤町長、マンパワー確保に奔走中!

齋藤町長は、先月5日(金)に愛知県半田市・安城市・豊川市を、9日(火)に宮崎県庁、宮崎市など宮崎県内各市町を、22日(月)には北海道庁、札幌市をそれぞれ表敬訪問し、集団移転など震災復興事業の本格化で「職員の絶対数が足りない」町の窮状を各首長に訴え、「職員派遣」に対する協力を要請しました。

なお、町では今後も、1日も早い町の復興に向け、国や県などと連携していくとともに、町独自でも積極的に全国の各自治体に協力を働きかけ、マンパワー確保に取り組んでまいります。



震災復興事業の概要や職員態勢の現状を説明し、戸数正 宮崎市長(中央)に協力を強く要請

町復興への願いをこめて 陸上自衛隊豊川駐屯地からの贈り物

先月6日(土)、齋藤町長は、震災当初から長期間にわたり、本町に対する各種災害支援活動に従事いただいた、陸上自衛隊第10特科連隊を始めとする各部隊が駐屯する豊川駐屯地の創立62周年記念式典に出席しました。

式典の席上、齋藤町長は、自衛隊関係者や大勢の市民を前に、震災時における同隊のきめ細かでのこもった各種活動や同県からの心温まる支援に対し、御礼の言葉を述べました。

また、引き続き開催された祝賀会では、同駐屯地の福元洋一司令から齋藤町長に、山元町の早期復興を祈願し、三河伝統の「手筒花火」(※)と日本三大稲荷の一つ、豊川稲荷の名で親しまれている豊川閣妙厳寺の本宮願道方丈(住職の意)直筆の書「一陽来復」が手渡されました。いたいた「手筒花火」は、役場仮庁舎正面玄関ロビー、中央公民館、坂元支所に飾られていますので、ぜひご覧ください。(書については、展示場所を現在検討中です)



福元司令(右)から手筒花火を手渡される齋藤町長

※孟宗竹に荒縄を巻いた筒に火薬を詰めてつくった花火のこと。今回贈られたのは、8月25日開催の豊川手筒祭りで使用されたもので、長さ92センチ、直径18センチ、重さ8・3キログラムあります。使用した手筒花火は、「魔除けのお守り」として言い伝えられ、縁起物としても重宝されています。



縦34字、横135字の書で、この言葉には「物事は回復して必ず良いめぐり合わせがやってくる」という意味がこめられています。

森 憲一氏

教育長に再任

9月に開催された第3回町議会定例会で同意を得て、10月1日に就任しました。



齋藤町長から任命書を受領する森氏

教育委員会教育長
森 憲一氏

昭和23年12月23日生(満63歳) 宮城教育大学小学校教員養成課程卒業後、学校教諭として、女川第一小を皮切りに16年間教鞭をとったほか、名取市教育委員会理事兼学校教育課長、県教育庁生涯学習課社会教育専門監、県登米教育事務所長、亘理中学校長などを歴任。

長年にわたり、本町 遺族会の運営に尽力

9月18日(火)、天皇皇后陛下ご臨席のもと、日本青年館ホールで挙行された日本遺族会創立65周年記念式典に

おいて、本町遺族会会長の阿部正紀氏(中山区)が表彰されました。



おめでとうございます

阿部氏は、平成2年度から本町遺族会の役員および副会長として、会員相互の連帯意識高揚を図るとともに、平成17年度には当会会長に就任し、会の将来を展望して組織の強化と会の運営に尽力した功績が認められ、表彰されたものです。

保健福祉課
すこやか福祉班
37-11113(内線143)

役場本庁舎解体の お知らせ



解体工事について、ご理解ご協力をお願いします。

役場本庁舎の解体が先月下旬から始まりました。

本庁舎は昭和49年に建築され、震災までの37年間、町民の皆さんとともに山元町の歴史を歩んできましたが、東日本大震災により被災し、震災直後の応急危険度判定調査で危険と判定されることにも、宮城県建築士事務所協会による被害状況調査では、重大な損傷箇所指摘があったことから、町では、改修工事は極めて困難であると判断し、解体を決定しました。

現在は、庁舎内側から解体を始め、年明けには建物全体の解体に入ります。近隣に住まいの方々、ご来庁の皆さんには大変ご迷惑をおかけすることをお詫びします。

工事期間中、安全管理には万全の注意を払ってまいりますが、騒音の発生等やむを得ない場合が予想されますので、皆さんご理解とご協力をお願いいたします。

企画財政課企画班
37-11118(内線226)

災害義援金の追加配分のお知らせ

9月14日、宮城県災害義援金配分委員会が開催され、国義援金(第4次)および県義援金(第3次)の配分が決定されました。9月27日開催の山元町義援金配分委員会においても、被災者へ速やかに義援金をお届けし、生活再建を促進させることが重要であるとの確認がなされました。配分対象となる被災者の皆さんには、次表に基づき10月中旬に指定口座への振り込みを行いましたので、指定口座のご確認をお願いします。

義援金の国および県配分の単価

支給対象		国 第4次配分	県 第3次配分	合 計
人的被害	死者・行方不明者	5万円	—	5万円
	住家被害			
住家被害	全壊	7万円	—	7万円
	大規模半壊	5万円	—	5万円
	半壊	3万円	—	3万円
津波浸水区域における住家被害(住家被害に加算)	全壊	7万円	3万円	10万円
	大規模半壊	4万円	3万円	7万円
	半壊	2万円	2万円	4万円

※義援金配分にかかる「津波浸水区域」の選定にあたっては、津波による被害を受けた土地として平成23年度固定資産税が課税免除された区域をもって「津波浸水区域」としています。

被災者支援室
29-8003(内線173)

全国瞬時警報システム(J・A・L・E・R・T)の運用が始まります

■J・A・L・E・R・Tとは

弾道ミサイル攻撃情報や緊急地震速報、津波警報といった、生命に関わる重大な事態が発生した場合、迅速に、直接国からの情報を防災行政無線で町民にお知らせするシステムです。

●運用開始 11月1日(予定)
●提供する情報

【国民保護関連情報】

ゲリラなどによる武力攻撃情報、航空攻撃情報等

【津波予報】

大津波警報、津波警報

【緊急地震速報】

(推定震度5弱以上)

※ラジオなどでも、逐次関連情報等をお伝えします。

●注意

①緊急地震速報については、震源が近い時や直下型地震の場合、放送が間に合わないことがあります。

②国のコンピュータが自動的に発信するシステムのため、技術的に誤作動の可能性があります。

③訓練や機器の調整のため、試験放送を行う場合があります。(この場合は、訓練放送として放送します)

★防災行政無線の放送等に

関するお知らせ
12月3日(月)、全国瞬時警報システム「緊急地震速報伝達試験」に伴い、10時15分に防災行政無線から「緊急地震速報」の音声流れられます。地震と間違わないようご注意ください。

●危機管理室
☎29-80002(内線217)

山元町消防団 秋季消防演習実施

9月16日(日)、昨年は震災の影響により中止となった山元町消防団秋季消防演習が、2年ぶりに実施されました。

この演習は、消防技術の向上や規律の確保、さらには、消防団員の士気高揚を図る目的により実施され、当日は、伊藤由信消防団長から「昨今の社会情勢を省みると、生業の傍ら消防団活動に従事する団員諸君には各自並々ならぬ苦勞があると思うが、地域住民の期待に応えるため、有事の際迅速かつ的確に行動できるように消防技術の研鑽に努めてほしい」との訓示が述べられ、引き続き、部隊訓練や消防ポンプの操作実践、実地放水などが行われました。



山下小校庭にて

防技術の向上に努めています。

秋の交通安全町民総ぐるみ運動が展開

9月21日(金)から30日(日)までの10日間、全国一斉に秋の交通安全運動が展開され、本町においても町民総ぐるみによる各種啓発活動が実施されました。

●期間中の無事故を祈念し

交通安全運動初日の9月21日(金)、期間中の無事故を祈念し、交通安全関係機関参加のもと出発式が行われました。また、出発式終了後、町の広報車やパトカーなどにより、町内一円パレードが行われました。

●交通安全鼓笛パレード

9月19日(水)には、坂元小学校・中浜小学校合同による

鼓笛パレードが実施されました。両校の児童は、緊張しながらも、この日のために練習を重ねてきた鼓笛やマーチングを元気に披露しました。交通安全を呼びかけました。子どもたちの期待に応えられるよう、町民総ぐるみで交通安全に努めましょう。



多くの支援をいただきながら、鼓笛を披露しました

●自転車点検

9月26日(水)には、町内各小中学校で自転車点検が行われました。

これは、自転車通学する児童・生徒の皆さんが、車両の整備不良などによって事故に遭うことなどを防ぐため、日ごろからの点検・整備に対する意識を高めてもらうこと、宮城県自転車軽自動車商業組合互理支部の方々の協力のもと行っているものです。自転車も「車両」です。定通ルールを守るとともに、定

期的な点検・整備を行い、安全利用に努めましょう。

●危機管理室
☎29-80002(内線215)

地域安全運動が展開

先月11日(木)から20日(土)までの10日間、全国一斉に地域安全運動が展開され、本町においても関係機関と連携のもと各種防犯施策を実施しました。

●朝のあいさつ運動

おおよび見守り活動
先月19日(金)に、山下小学校で朝のあいさつ運動および登校時の見守り活動が行われました。



元気にあいさつして登校する子どもたち

この活動は、互理警察署および互理地区防犯協会連合会が主催し、山元町防犯パトロール隊などの関係団体が参加して行われたものです。

子どもを犯罪被害から守るためには、犯罪を許さない地域社会づくりが大切です。町民一人ひとりが防犯意識を高め、犯罪のない安全で安心して暮らせる地域社会の実現に努めましょう。

●防犯診断競技大会

先月16日(火)、第22回防犯診断競技大会が県警察学校(名取市)で開催され、本町からは、山元町防犯パトロール隊員2人が出場しました。残念ながら入賞は逃しましたが、練習の成果を十分に発揮し、堂々と競技に参加していました。

この大会には、防犯パトロール隊員や防犯協会会員など、県内各警察署管内の代表22チームが参加。家庭を訪問して巡回指導を行うという想定で、主婦役の警官と面談しながら、家の戸締りや車・自転車の施錠状況などを点検し、総合的な防犯診断を規定時間内にいかに適切に行うことができるかを競いました。

防犯パトロール隊は、毎週夜間巡回を実施しているほか、児童生徒の下校時間にも巡回を行っており、犯罪の未然防止に努めています。

●危機管理室
☎29-80002(内線215)

心をひとつに！山元町ふれあい産業祭

11月23日(金・祝)10時から15時まで、役場前駐車場にて、「心をひとつに！山元町ふれあい産業祭」が開催されます。

昨年大好評だった復興支援ブース、リンゴの試食やリンゴジュースの試飲、商工者による地場産品の展示即売、屋台コーナーなどのほか、多彩なステージイベントをご用意して、皆様のご来場をお待ちしています。



リンゴ(山元町)



じゃがまん(美幌町)



ピーマンピザ(新冠町)



くずもち(松伏町)



ホルモンうどん(佐用町)



湯村じゃぶ(新温泉町)



●お願い

- ・会場内に駐車場はありません。山下小学校等の臨時駐車場(送迎シャトルバス有り)をご利用いただくか、仮設住宅からの送迎バスをご利用ください。
- ・ふれあい産業祭の開催準備に伴い、役場北側駐車場は開催日前日の11月22日(木)午前中から駐車ができなくなります。JR代行バス利用等のため役場に車でお越しの方は、役場南側駐車場をご利用ください。



但馬牛(香美町)



レモンパーク(上島町)



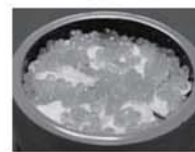
みかん(八幡浜市)



トマト鍋(都農町)



宮崎地鶏(日之影町)



はらこめし(山元町)

主管：山元町ふれあい産業祭実行委員会

☎ 互理山元商工会 山元事務所 ☎37-0543/産業振興課 地域振興班 ☎37-1119(内線243)

みんな育てよう

ふるさとの文化

第36回町民文化祭 開催のお知らせ

今年23日(金・祝)から25日(日)まで、中央公民館などを会場に、山元町町民文化祭を開催します。

期間中は、山元町文化協会加盟団体による書画や写真、盆栽などの作品展示や舞踊、民謡などのステージ発表を予定しています。

芸術文化活動の成果をぜひご観覧ください。

●スケジュール・内容

○展示の部(作品展示)

・期間 11月23日(金・祝)

・日時 11月23日(金・祝)

・会場 中央公民館、勤労青少年ホーム、ふるさと伝承館

○芸能の部(ステージ発表)

・日時 11月23日(金・祝)

・会場 中央公民館大ホール

※その他、お茶席や囲碁・将棋のフリー対局も予定しています。詳細については、各戸配付されるチラシにてご確認ください。

☎ 生涯学習課 生涯学習班

☎37-51116(内線426)

表1 一般会計・特別会計決算一覧表

(単位:千円・%)

区 分		平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
一 般 会 計		歳入 27,419,757	6,121,669	21,298,088	347.9
		歳出 24,957,419	5,492,917	19,464,502	354.4
特 別 会 計	国民健康保険事業	歳入 2,360,664	2,056,865	303,799	14.8
		歳出 2,168,159	1,957,413	210,746	10.8
	老 人 保 健	歳入 -	16,615	△ 16,615	△ 100.0
		歳出 -	16,615	△ 16,615	△ 100.0
	後 期 高 齢 者 医 療	歳入 95,841	150,749	△ 54,908	△ 36.4
		歳出 94,345	149,392	△ 55,047	△ 36.8
	介 護 保 険 事 業	歳入 1,340,055	1,244,007	96,048	7.7
		歳出 1,262,547	1,201,506	61,041	5.1
	互埋地域介護認定審査会	歳入 2,566	-	2,566	100.0
		歳出 2,566	-	2,566	100.0
一般会計・特別会計		歳入 31,218,883	9,589,905	21,628,978	225.5
合 計		歳出 28,485,036	8,817,843	19,667,193	223.0

表2 企業会計決算一覧表

(単位:千円・%)

区 分				平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
企 業 会 計	水道事業	収 益 の 収 支	収入	337,016	421,380	△ 84,364	△ 20.0
			支出	423,899	416,008	7,891	1.9
		資 本 の 収 支	収入	10,992	13,065	△ 2,073	△ 15.9
			支出	163,124	163,707	△ 583	△ 0.4
	下水道事業	収 益 の 収 支	収入	864,085	542,853	321,232	59.2
			支出	580,934	868,058	△ 287,124	△ 33.1
		資 本 の 収 支	収入	364,891	143,200	221,691	154.8
			支出	697,222	498,836	198,386	39.8

※数値は税込金額です。

表3 地方債・企業債残高と基金現在高

(単位:千円・%)

区 分	平成23年度末	平成22年度末	増減額	増減率
地方債残高(一般、特別、企業会計の合計)	12,914,255	13,236,998	△ 322,743	△ 2.4
基金現在高(一般、特別、企業会計の合計)	8,790,521	2,461,663	6,328,858	257.1

図1 歳入構成比

一般会計

歳入

274億1,975万7千円

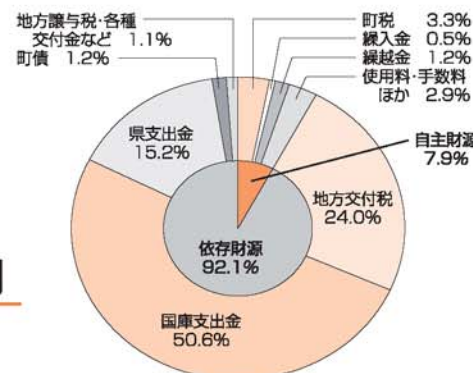


表4 歳入額内訳

(単位:千円・%)

区 分		平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
自主財源	町 税	903,336	1,340,437	△ 437,101	△ 32.6
	繰 入 金	129,498	450,069	△ 320,571	△ 71.2
	繰 越 金	328,753	167,551	161,202	96.2
	分担金および負担金	21,366	50,334	△ 28,968	△ 57.6
	使用料および手数料	36,951	41,723	△ 4,772	△ 11.4
	財 産 収 入	4,292	20,312	△ 16,020	△ 78.9
	寄 附 金	216,664	130	216,534	166,564.6
諸 収 入	514,219	138,213	376,006	272.0	
依存財源	地 方 交 付 税	6,583,137	2,604,166	3,978,971	152.8
	国 庫 支 出 金	13,882,020	627,050	13,254,970	2,113.9
	県 支 出 金	4,182,942	336,143	3,846,799	1,144.4
	町 債	321,600	20,200	301,400	1,492.1
	地 方 譲 与 税	100,220	102,820	△ 2,600	△ 2.5
	利 子 割 交 付 金	3,205	4,400	△ 1,195	△ 27.2
	配 当 割 交 付 金	1,635	1,628	7	0.4
	株式等譲渡所得割交付金	368	515	△ 147	△ 28.5
	地方消費税交付金	133,867	137,070	△ 3,203	△ 2.3
	ゴルフ場利用税交付金	9,690	25,524	△ 15,834	△ 62.0
	自動車取得税交付金	23,223	26,314	△ 3,091	△ 11.7
地方特例交付金	20,891	25,240	△ 4,349	△ 17.2	
交通安全対策特別交付金	1,880	1,830	50	2.7	
合 計		27,419,757	6,121,669	21,298,088	347.9

平成23年度各種会計が、9月議会にて認定されましたのでお知らせします。決算公表とは、町が行政サービスを実施するために使った税金が、どのように収入され、どのように支出されたのかを町民の皆さんに明らかにするものです。一般会計と4つの特別会計を合わせた決算額は、歳入が312億1888万3千円、歳出が284億8503万6千円(表1)となり、企業会計の決算額は表2のとおりでした。

なお、老人保健特別会計は平成22年度で廃止され、平成23年度からあらたに互埋地域介護認定審査会特別会計が設けられました。

※表中の△は、マイナスを表しています。

※各表・図において、端数処理により、合計額と一致しない場合があります。

町の財政状況と税金の使い道

決算公表

平成23年度

町内放射線関連情報

■ 空間放射線量測定結果の推移

問 危機管理室 ☎ 29-8002(内線215)

町では、町内23カ所で毎日、空間放射線量の測定を実施しています。現在のところ、測定値に大きな変化が見られないことから、震災直後から前月までの測定値の推移をお知らせします。なお、毎日の測定結果については、町ホームページに掲載しているほか、りんごラジオ(80.7MHz)でもお知らせしています。

(単位: μ Sv/h)

区分	測定施設	測定開始日	測定最高値	震災後1カ月	震災後3カ月	震災後6カ月	震災後10カ月	震災後12カ月	直近3カ月		
町施設	役場駐車場	H23.3.14	H23.3.16	H23.4.11	H23.6.16※3	H23.8.11	H24.1.11	H24.3.12※5	H24.8.13	H24.9.11	H24.10.11
	北保育所※	0.41※2	1.59※2	0.16※2	0.06※2	0.09	0.13	0.11	0.16※8	0.16※8	0.15※8
	南保育所※ (老人憩いの家)	—	—	—	—	0.16	0.13	0.11	0.07	0.09	0.09
	坂元支所	—	—	—	—	0.26	0.16	0.13	0.08	0.08	0.10
	中央公民館	—	—	—	0.15	0.15	0.28	0.12	0.08	0.08	0.09
	少年の森※	—	—	—	0.22	0.12	0.12	0.09	0.06	0.09	0.05
	山下第一小学校※	—	—	—	0.39	0.25	0.22	0.21※6	0.15	0.16	0.13
	山下小学校※ (山下第二小学校)	—	—	—	0.04	0.12	0.11	0.08	0.06	0.07	0.08
	坂元小学校※ (中浜小学校)	—	—	—	0.15	0.21	0.15	0.11	0.05	0.07	0.06
	山下中学校	—	—	—	0.26	0.23	0.19	0.14	0.11	0.12	0.12
小・中学校等	坂元中学校	—	—	—	0.14	0.26	0.19	0.25	0.04	0.07	0.06
	山元支援学校※	—	—	—	0.21	0.32	0.24	0.26※6	0.15	0.17	0.17
	やまもと幼稚園※	—	—	—	0.21	0.22	0.16	0.18	0.11	0.10	0.12
	ふじ幼稚園※、※10	—	—	—	0.24	0.16※4	0.15	0.14	0.10	0.09	0.08
	工房地球村	—	—	—	—	—	—	—	—	0.04	0.04
	久保間児童遊園※	—	—	—	—	—	0.47	0.43	0.39	0.35	0.32
	上平消防ポンプ置場前	—	—	—	—	—	0.25	0.22	0.16	0.15	0.15
	坂元駅前	—	—	—	—	—	0.15	0.15	0.08	0.10	0.07
	山下駅前	—	—	—	—	—	0.12	0.10	0.09	0.09	0.11
	西牛橋(西)バス停前	—	—	—	—	—	0.12	0.11	0.12	0.10	0.08
その他施設等	中山杉内バス停跡	—	—	—	0.34	0.30	0.27	0.25	0.26	0.26	0.20
	旧中山仮設住宅/バス停前	—	—	—	—	—	0.47	0.26	0.20	0.17	0.18
	笠野北須賀路切※9	—	—	—	—	—	—	—	0.19	0.18	0.19
	真庭区民会館	—	—	—	—	—	0.17	0.13	0.14	0.11	0.10

【注】上記の値は、町職員等が簡易型環境放射線モニタにより測定したもの(※2※8を除く)。

※1: 50cm、それ以外は1mの高さでそれぞれ測定したもの

※2: 東北電力が測定したもの

※3: 役場駐車場を含め、町内14カ所で測定開始

※4: 休園日につき、8月10日の測定値を採用

※5: 3月11日が日曜日のため、12日の測定値を採用

※6: 休(館)校日につき、3月13日の測定値を採用

※7: 休(館)校日につき、6月12日の測定値を採用

※8: 可搬型モニタリングポストの測定値

※9: 9月6日から測定開始(9月5日までのふじ幼稚園の測定値は真庭区民会館として記載)

■ 水道水放射能測定結果

問 上下水道事業所 ☎ 37-1120(内線251)

水道水の放射能測定結果は、下記のとおり「不検出」となっていますので、安心してご使用ください。

(単位: Bq/kg)

採取場所	採取日	放射性ヨウ素 (I-131)	放射性セシウム	
			Cs-134	Cs-137
仙南・仙塩広域水道 南部山浄水場(白石市)	10/9	不検出 (検出下限値0.3)	不検出 (検出下限値0.2)	不検出 (検出下限値0.3)
山元町横山・小平 山下・坂元 深井戸	10/18	不検出 (検出下限値0.6)	不検出 (検出下限値0.7)	不検出 (検出下限値0.8)

【参考】4月から、食品衛生法に基づく飲料水の基準値が10Bq/kgに設定されたことを受けて、水道水については放射性セシウムの管理目標値として10Bq/kgが設定されました。また、放射性ヨウ素については半減期が短く、規制値を設定する必要性が乏しいことから、基準値の設定対象としないことになりました。

午後4時ライトオン
ライトで光る反射材「交通ルール 守るあなたが守られる」
運転者・自転車利用者・歩行者、それぞれの立場で、交通安全意識の高揚を図りましょう！「午後4時ライトオン」
夕方は早め点灯に努めましょう！
反射材やLED安全ライ
トの有効活用にも努めま
しょう！LED安全ライトなどの
反射材用品等の活用促進
○高齢者の交通事故防止
■交通安全事故防止に向け、次の
点に留意しましょう夕暮れ時の
交通安全防止運動
期間
10月15日～11月30日
運動の重点事項
○夕暮れ時における交通安全意識の醸成
○早め点灯(午後4時ライトオン)の推進やま
こち山
こちら山元町駐在所
駐在さん通信

用語解説

◆巨理地域介護認定審査会 特別会計

介護保険制度の執行に伴い、制度の根幹となる要支援・要介護の認定を公平公正化、平準化を図るため、平成11年度に巨理町と山元町の両町で「巨理地域介護認定審査会」を共同設置しました。幹事町は、4会計年度ごとに交代し、本審査会の運営に関する経費は、幹事町の予算に計上することとなっています。なお、平成23年度から平成26年度まで山元町が幹事町となります。

◆災害救助費

災害救助法に基づき、応急的に必要な救助を行うための費用のことで、対象となる活動の種類は、避難所や仮設住宅などの供与、炊き出しなどによる食品の給与や飲料水の供給、被服、寝具など生活必需品の給与または貸与、医療および助産、災害にかかった者の救出、災害にかかった住宅の応急修理、生業に必要な資金などの給与または貸与、学用品の給与、埋葬、ご遺体の搜索、障害物の除去、応急救助のための輸送費および賃金職員等雇上費、救助事務費があります。

◆補助費

災害廃棄物処理事業の県への負担金や、巨理地区行政事務組合、巨理名取共立衛生処理組合への負担金、各種団体への運営補助金のことです。

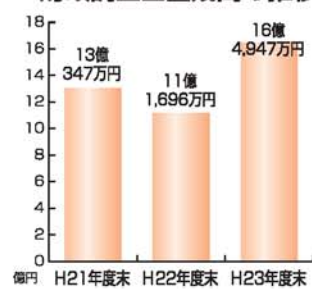
◆積立金

財政調整基金や各種特定目的基金へお金を積み立てるための支出科目のことです。東日本大震災復興交付金(広報5月号参照)や、全国の皆さんからのご寄附などを基金に積み立てるときはこの支出科目となります。

■図5 地方債残高と公債費の推移



■図6 財政調整基金残高の推移



■表7 主な財政指標

指 標	平成21年度末	平成22年度末	平成23年度末
財政力指数	0.410	0.379	0.360
経常収支比率	89.2%	90.9%	90.8%
実質収支比率	5.4%	13.1%	20.0%
標準財政規模	4,221,399千円	4,444,253千円	4,312,935千円

用語説明

財政力指数 町の財政力(体力)を示す指数のこと。この指数が高いほど財源に余裕があるとされており、1.000を超えると普通交付税の不交付団体となる。

経常収支比率 財政構造の弾力性を示す指数のこと。この指数が75%を超えると臨時的な財政需要があったとき、財源に余裕がなくなるなど、弾力性を失いつつあるとされている。

実質収支比率 実質収支が黒字の場合は、正の数で示される。地方公共団体は営利を目的としていないため、通常この比率は3~5%が望ましいとされている。

標準財政規模 町の標準的に通常収入されるであろう一般財源の規模のこと。

■表8 健全化判断比率

健全化判断比率の各指標	平成21年度末	平成22年度末	平成23年度末
実質赤字比率 一般会計等の収支の指標	(-5.41%)	(-13.05%)	(-19.96%)
連結実質赤字比率 全会計を対象とした収支の指標	(-18.74%)	(-19.17%)	(-26.25%)
実質公債費比率 公債費負担の指標	15.6%	14.6%	13.9%
将来負担比率 公営企業等を含めた一般会計等の実質的な負債の指標	97.4%	65.8%	39.4%
資金不足比率 公営企業の料金収入に対する資金不足の規模を表した指標	—	—	—

※「—」は、赤字ではないことを示しています。

地方債と基金

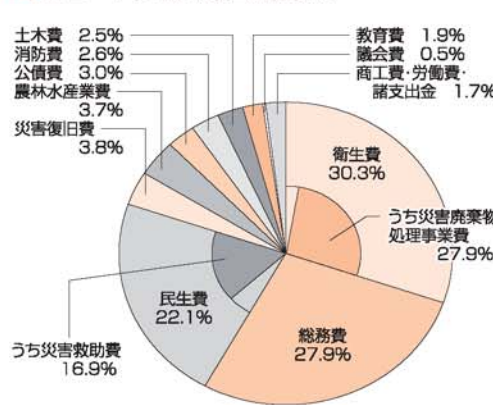
「地方債」とは、災害復旧工事や災害公営住宅建設工事など、その年度の税収を超える多額の財源が必要とき、政府などから資金調達する借入金のことをいい、平成23年度末残高は、56億7523万円、6101万円の減となりました。また「公債費」とは、この地方債の元金と利子の毎年度の返済額のことをいい、平成23年度は7億3735万円でした。

「基金」とは、特定の目的のために積み立てた資金のことをいいます。このうち、財政調整基金とは、年度間の財源の不均衡を調整したり、災害など緊急に必要なときなど、に備え積み立てておく基金です。平成23年度末積立額は、16億4947万円となっています。

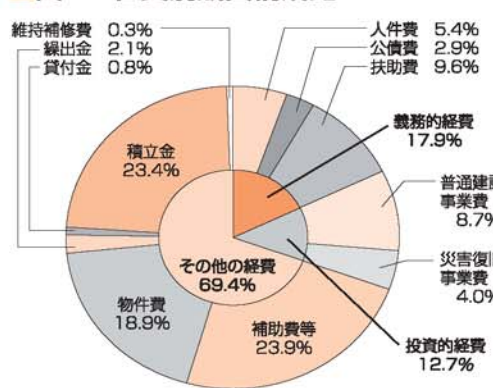
なお、各種財政指標については、次のとおりです。

歳出 249億5,741万9千円

■図2 目的別歳出構成比



■図3 性質別歳出構成比



■表5 目的別歳出額内訳

区 分	平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
議 会 費	118,652	93,706	24,946	26.6
総 務 費	6,969,842	820,697	6,149,145	749.3
民 生 費	5,527,777	1,509,610	4,018,167	266.2
うち災害救助費	4,217,659	143,748	4,073,911	2,834.1
衛 生 費	7,568,179	333,007	7,235,172	2,172.7
うち災害廃棄物処理事業費	6,960,468	0	6,960,468	100.0
労 働 費	196,964	69,322	127,642	184.1
農 林 水 産 業 費	919,685	278,783	640,902	229.9
商 工 費	67,784	69,281	△ 1,497	△ 2.2
土 木 費	615,110	648,996	△ 33,886	△ 5.2
消 防 費	654,177	246,367	407,810	165.5
教 育 費	484,758	664,043	△ 179,285	△ 27.0
災 害 復 旧 費	937,742	2,705	935,037	34,567.0
公 債 費	737,349	756,400	△ 19,051	△ 2.5
諸 支 出 金	159,400	0	159,400	100.0
合 計	24,957,419	5,492,917	19,464,502	354.4

■表6 性質別歳出額内訳

区 分	平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
義務的経費	1,343,749	1,199,425	144,324	12.0
人 件 費	737,349	756,400	△ 19,051	△ 2.5
公 債 費	2,398,286	517,540	1,880,746	363.4
扶 助 費	2,181,064	634,703	1,546,361	243.6
投資的経費	984,845	2,705	982,140	36,308.3
普通建設事業費	5,964,878	930,279	5,034,599	541.2
災害復旧事業費	4,709,262	725,400	3,983,862	549.2
補 助 費 等	529,696	576,183	△ 46,487	△ 8.1
物 件 費	197,664	28,980	168,684	582.1
繰 出 金	5,833,860	14,260	5,819,600	40810.7
貸 付 金	76,766	107,042	△ 30,276	△ 28.3
維 持 補 修 費	24,957,419	5,492,917	19,464,502	354.4
合 計	24,957,419	5,492,917	19,464,502	354.4

※性質別分類については、地方財政状況調査に基づく数値です。

主な使い道

・震災復興事業	1億90160千円
・役場庁舎関係震災対策事業	5807千円
・山元町震災復興計画策定事業	23億4938千円
・災害救助事業	69億1874千円
・災害弔慰金他給付事業	6億7533千円
・災害廃棄物等処理事業	6億4053千円
・放射能除染対策事業	6億3381千円
・巨理名取共立衛生処理組合負担金災害分	2億30250千円
・被災者支援物資管理事業	3億20250千円
・重点分野雇用創造事業震災対応臨時職員	1億27080千円
・震災農業生産対策交付金事業	3億60687千円
・被災農家経営再開支援事業	3億16965千円
・災害公営住宅建設事業	1億2694千円
・防災集団移転促進事業	8億9254千円
・小中学生通学扶助費	2億2925千円
・被災児童生徒就学奨励費	2億4549千円
・災害援護資金貸付事業	1億59400千円
・震災復興事業(災害復旧工事など)	8億34075千円
・公共土木施設災害復旧事業	5億5571千円
・農林水産業施設災害復旧事業	1億9355千円
・公立学校施設災害復旧事業	5億5571千円
・公立社会教育施設災害復旧事業	5億5571千円
・消防施設災害復旧事業	2億2215千円
・町道緊急補修事業	2億2215千円

■図4

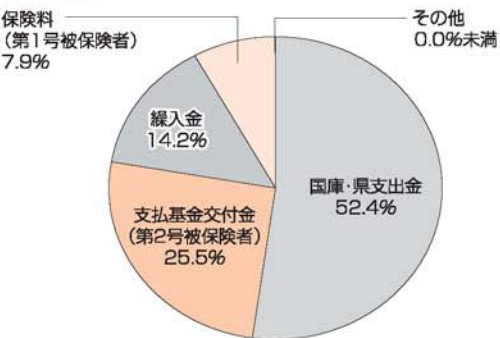
町民1人あたりの支出額	衛生費	総務費	民生費	災害復旧費	農林水産業費	公債費
1,754,353円	531,996円	489,937円	388,569円	65,917円	64,648円	51,831円
消防費	土木費	教育費	労働費	諸支出金	議会費	商工費
45,985円	43,239円	34,075円	13,845円	11,205円	8,341円	4,765円

人口は、平成24年3月31日現在の14,226人で計算しています。

介護保険事業特別会計

〔年間平均被保険者数 4,525人〕
〔年間平均要介護・要支援認定者数 819人〕

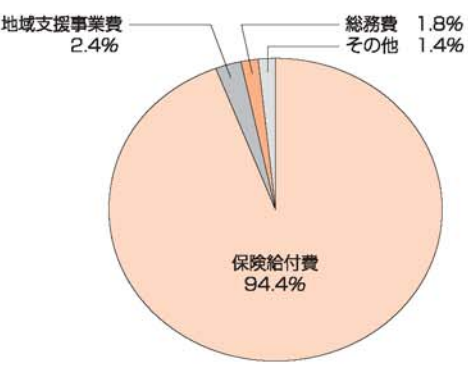
歳入 13億4,005万5千円



(単位:千円・%)

区 分	平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
国庫・県支出金	702,317	462,582	239,735	51.8
支払基金交付金(第2号被保険者)	341,047	344,498	△ 3,451	△ 1.0
繰入金	190,663	242,853	△ 52,190	△ 21.5
保険料(第1号被保険者)	105,872	193,914	△ 88,042	△ 45.4
その他	156	160	△ 4	△ 2.5
合 計	1,340,055	1,244,007	96,048	7.7

歳出 12億6,254万7千円

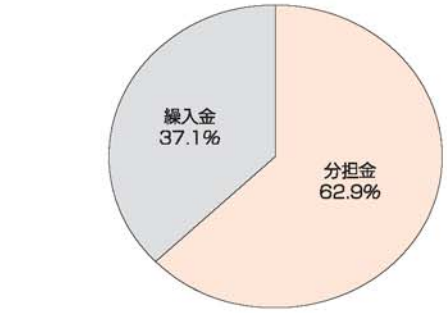


(単位:千円・%)

区 分	平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
保険給付費	1,191,652	1,128,232	63,420	5.6
地域支援事業費	30,641	24,763	5,878	23.7
総務費	23,124	27,479	△ 4,355	△ 15.8
その他	17,130	21,032	△ 3,902	△ 18.6
合 計	1,262,547	1,201,506	61,041	5.1

亘理地域介護認定審査会特別会計

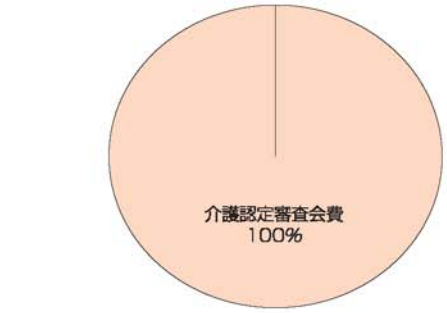
歳入 256万6千円



(単位:千円・%)

区 分	平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
分 担 金	1,614	—	1,614	100
繰入金	952	—	952	100
合 計	2,566	—	2,566	100

歳出 256万6千円



(単位:千円・%)

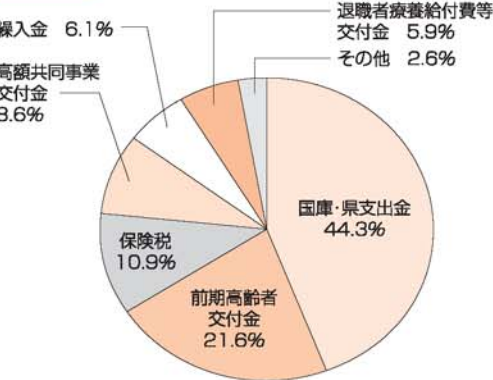
区 分	平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
介護認定審査会費	2,566	—	2,566	100
合 計	2,566	—	2,566	100

特別会計

国民健康保険事業特別会計

〔年間平均被保険者数4,987人、世帯数2,658世帯〕

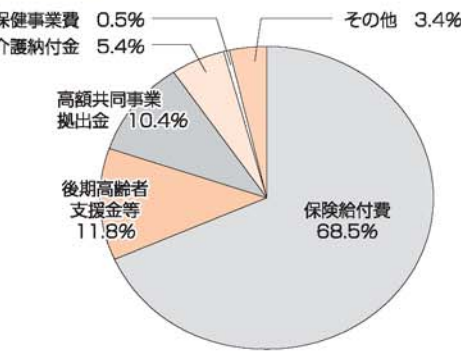
歳入 23億6,066万4千円



(単位:千円・%)

区 分	平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
国庫・県支出金	1,045,837	598,221	447,616	74.8
前期高齢者交付金	510,482	413,990	96,492	23.3
保険税	255,900	476,083	△ 220,183	△ 46.2
高額共同事業交付金	203,204	229,624	△ 26,420	△ 11.5
繰入金	143,135	164,198	△ 21,063	△ 12.8
退職者療養給付費等交付金	140,046	103,523	36,523	35.3
その他	62,060	71,226	△ 9,166	△ 12.9
合 計	2,360,664	2,056,865	303,799	14.8

歳出 21億6,815万9千円



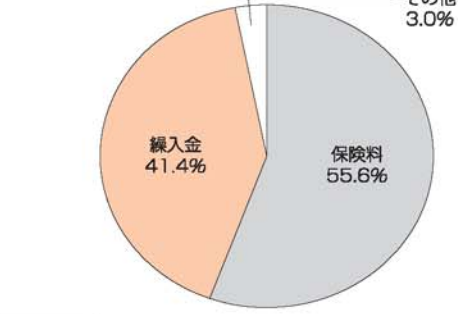
(単位:千円・%)

区 分	平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
保険給付費	1,485,405	1,328,756	156,649	11.8
後期高齢者支援金等	255,928	216,734	39,194	18.1
高額共同事業拠出金	225,753	218,135	7,618	3.5
介護納付金	117,320	103,833	13,487	13.0
保健事業費	9,442	11,852	△ 2,410	△ 20.3
その他	74,311	78,103	△ 3,792	△ 4.9
合 計	2,168,159	1,957,413	210,746	10.8

後期高齢者医療特別会計

〔年間平均被保険者数2,401人〕

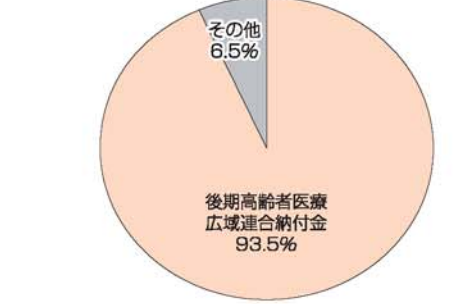
歳入 9,584万1千円



(単位:千円・%)

区 分	平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
保険料	53,249	103,500	△ 50,251	△ 48.6
繰入金	39,666	45,636	△ 5,970	△ 13.1
その他	2,926	1,613	1,313	81.4
合 計	95,841	150,749	△ 54,908	△ 36.4

歳出 9,434万5千円



(単位:千円・%)

区 分	平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
後期高齢者医療広域連合納付金	88,233	144,582	△ 56,349	△ 39.0
その他	6,112	4,810	1,302	27.1
合 計	94,345	149,392	△ 55,047	△ 36.8

下水道事業会計

平成23年度財務諸表

損益計算書

[1年間の経営成績を示すもの]
(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位:千円)			
費用科目	金 額	収益科目	金 額
営業費用 (処理場や管渠維持費等)	224,151	営業収益 (使用料・他会計補助金)	161,366
営業外費用 (長期借入金利息・繰延勘定償却)	261,652	営業外収益	437,360
特別損失 (臨時損失) ※1	92,598	特別利益	259,820
当期純利益 ※2	280,145		
合 計	858,546	合 計	858,546

※金額は消費税抜きです。

貸借対照表

[年度末における事業財産の状態を示すもの]
(平成24年3月31日現在)

(単位:千円)			
資産科目	金 額	負債・資本科目	金 額
固定資産 (下水道管、機械設備)	11,522,131	固定負債 (企業債、修繕引当金)	421,183
流動資産 (現金預金、未収金)	282,420	流動負債 (未払金)	242,351
繰延勘定 (災害損失)	320,067	資本金 (うち借入資本金等)	5,351,341 (5,266,419)
		剰余金 (うち未処理欠損金)	6,109,743 (27,829)
合 計	12,124,618	合 計	12,124,618

※金額は消費税抜きです。

平成23年度下水道事業会計のあらまし

項 目		平成23年度	平成22年度	対前年度	備 考
計画処理区域内人口	人	16,560	16,560	0	平成17年度に定めた計画人口です。
処理区域内人口(外国人含) 人		8,892	9,721	△ 829	東日本大震災による影響のため昨年度と比較すると大幅な減少となっています。
水洗化人口	人	8,345	8,758	△ 413	東日本大震災による影響のため昨年度と比較すると大幅な減少となっています。
水洗化率	%	93.8	90.1	3.7	水洗化人口(分母)の減少がプラス要因と思われます。
年間有収水量 ※3	m	427,075	909,091	△ 482,016	処理水量のうち下水道使用料算定の対象となる水量です。
企業債元金残高	千円	5,672,737	5,929,478	△ 256,741	下水道工事約198億円に要した長期借入金の残高です。

用語解説

※1 臨時損失

東日本大震災において発生した緊急的費用です。

※2 当期純利益

1年間の経営でどれだけ利益を出したのかを示すものです。

※3 年間有収水量

メーター検針により把握され、下水道使用料算定の対象となった1年間の下水道使用水量のことをいいます。

企業会計

水道事業会計

平成23年度財務諸表

損益計算書

[1年間の経営成績を示すもの]
(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位:千円)			
費用科目	金 額	収益科目	金 額
営業費用 (広域水道受水費等)	281,505	営業収益 (給水収益・負担金)	296,502
営業外費用 (長期借入金利息・繰延勘定償却) ※1	41,686	営業外収益	27,815
特別損失 (臨時損失)	89,578	特別利益	71
		当期純損失 ※2	88,381
合 計	412,769	合 計	412,769

※金額は消費税抜きです。

貸借対照表

[年度末における事業財産の状態を示すもの]
(平成24年3月31日現在)

(単位:千円)			
資産科目	金 額	負債・資本科目	金 額
固定資産 (水道管、機械設備)	2,954,510	固定負債 (企業債、修繕引当金)	170,955
流動資産 (現金預金、未収金)	138,225	流動負債 (未払金)	44,224
繰延勘定 ※3 (災害損失)	12,210	資本金 (うち借入資本金等) ※4	1,813,097 (1,450,687)
		剰余金 (うち未処理欠損金) ※5	1,076,669 (83,213)
合 計	3,104,945	合 計	3,104,945

※金額は消費税抜きです。

平成23年度水道事業会計のあらまし

項 目		平成23年度	平成22年度	対前年度	備 考
計画給水人口	人	20,550	20,550	0	平成2年度に定めた計画人口です。
給水区域内人口(外国人含) 人		14,280	16,003	△ 1,723	東日本大震災による影響のため、昨年度と比較すると大幅な減少となっています。
給水人口	人	14,014	15,609	△ 1,595	東日本大震災による影響のため、昨年度と比較すると大幅な減少となっています。
給水普及率	%	98.1	97.5	0.6	給水人口(分母)の減少がプラスとなった要因と思われます。
年間有収水量	m	815,790	1,435,390	△ 619,600	配水量のうち、水道料金算定の対象となる水量です。
企業債元金残高	千円	1,566,288	1,571,283	△ 4,995	水道工事約46億円に要した長期借入金の残高です。

用語解説

※1 繰延勘定償却

東日本大震災により被害を受けた水道管の1/5の損失額です。公営企業法により、最大

で5年間で計上できることが定められており、平成22年度から同額を5年間計上します。

※2 当期純損失

東日本大震災により被害を受けた水道管の被害額が大きく、当年度は大きな損失となりました。

※3 繰延勘定

上記で説明した東日本大震災により被害を受けた水道管の繰延勘定償却の3/5の損失残額が計上されます。毎年1/5を繰延勘定償却として損益計算書の費用に計上していくので年々減少します。

※4 借入資本金

民間企業では、借入は負債とされますが、公営企業においては水道管等の資産を得るために限定される借入のため、資本に分類します。

※5 未処理欠損金

東日本大震災にて生じた純損失が大きく、剰余金で賄えないため、欠損金として計上します。なお、欠損金を減少させるには損益計算書で純利益が生じなければ減少することができません。

ご長寿おめでとうございます！

100歳の方々に総理大臣および県知事表彰

今年度100歳を迎えられる次の方々に対し、野田佳彦内閣総理大臣および村井嘉浩宮城県知事からそれぞれ祝状と記念品が贈られ、9月下旬に町から伝達されました。皆さん、これからもお元気でお過ごしください。

11月1日現在、町内の100歳以上の高齢者は、女性8人です。

■大内 るるさん(小平区)
(大正1年11月2日生)



「一番の楽しみは家族みんなで一緒にいることです」

■石川 セイさん(みやま荘)
(大正1年11月3日生)



「演歌が大好きで、1日中聴きながら過ごしています」

■平田 とくえさん(浅生原区)
(大正1年11月23日生)



「趣味はニットたわし編み。完成品をご近所や知り合いに配るのが楽しみです」

■渡邊 はるゑさん(中山区)
(大正2年1月12日生)



「健康と長寿の秘訣は、自分のことは自分ですることです」

■伊藤 タイさん(笠野区)
(大正2年1月20日生)



「息子さんとの二人三脚。田舎料理が何よりも大好きだそうです」

■鈴木 きすくさん(山寺区)
(大正2年3月20日生)



「週3回のデイサービスで仲間とのしゃべりが何よりも楽しみです」

次世代を担う若者が選挙を学ぶ

山下中学校で選挙に関する出前授業が実施されました



選挙の話に真剣に耳を傾ける生徒たち

9月19日(水)、山下中学校の生徒会執行部と選挙管理委員会の生徒を対象とした選挙に関する出前授業が実施されました。

これは、約1カ月後に生徒会役員改選選挙を控えた同中学校において、選挙の概要を学んでもらい、同改選選挙を通じて、次世代を担う生徒の皆さんに選挙を身近に感じてもらおうと、本町の選挙管理委員会と明るい選挙推進協議会が合同で企画。宮城県選挙管理委員会の協力を得て行われたものです。

出前授業では、講師の宮城県選挙管理委員会事務局職員が、選挙の仕組みやどのように選挙が執行されていくのかなど、約1時間にわたって解説。生徒の皆さんは、普段の授業では学ぶことのできない選挙の話に真剣に耳を傾けていました。このほかにも、選挙で実際に使用する投票用紙が配布され、

生徒たちはその感触を確かめるとともに、投票用紙には開票しやすいように特殊な素材が使われているため、しっかり折って投函しても投票箱の中で元どおり開く様子には、驚きの声が上がっていました。

この講座を受けて、同中学校生徒会執行部と選挙管理委員会では、先月11日(木)に生徒会長・副会長改選選挙を執行。当日は、候補者による立会い演説会や投票開票作業など、本番さながらの選挙が実施されました。

選挙執行後、準備から執行まで関わった生徒会執行部の生徒からは「出前講座はとても勉強になりました。でも、選挙実施に段取りが予定どおり運ばず苦労しました」などの感想が聞かれました。



選挙執行に携わった生徒の皆さん

郷土料理を楽しく学ぶ

小学生郷土料理体験事業「はらこめし」づくり

先月下旬、各小学校で5年生を対象とした「はらこめし」づくりが行われました。地場産品を使用した料理体験を通じ、地産地消と食習慣の大切さを学ぶことを目的として、これまで小学5年生の恒例行事となっていたこの事業ですが、昨年は震災の影響で実施できず、2年ぶりの開催となりました。

先月22日(月)には、坂元・中浜両小学校の児童20人が体験しました。朝に水揚げされたばかりの大きなサケを目の前に、児童たちは大興奮！この日協力をいただいた漁師の岩佐敏さん、鈴木重紀さん、寺島洋孝さん、門間敏真さんの4人のサケをさばく手際の良い包丁さばきに児童の視線は釘付けとなりました。そして、お腹から卵が取り出されると、悲鳴にも似たひときわ大きな歓声が沸き起こりました。

その後、児童たちは各グループに分かれ、食生活改善推進員の指導のもと、初めて触るはらの感触に驚きながら楽しく調理を進めました。

この日のメニューは、はらこめし、あら汁、パプリカのきんぴら、デザートのリンドの4種類。みんなで協力して作った料理は格別のように、児童たちは、とても満足げな表情で“やまもとの秋の味覚”をほおばり味わっていました。



最後の仕上げの盛り付けも真剣です！

銀色に輝く魚体に港沸く

秋サケが初水揚げ



漁船から港に初水揚げされるサケ

先月15日(月)、今シーズンの秋サケ定置網漁がスタートし、銀色に輝く約800kgのサケが初水揚げされました。

昨年は1カ所だった定置網も、今シーズンは小浦川河口と後藤湖北側の約1km沖合2カ所に設置。この日は、そのうち小浦川の沖合で漁が行われました。例年よりクラゲが多く網の引き揚げに苦労したということですが、品質は上々とのこと。

鈴木重紀さん(磯区)は「昨日の夕方まで網入れ作業にかかり、あまり期待していなかったが、短時間でこの量は上出来。放射性セシウムも不検出だったし、あとは今後さらに量が増えてくれることに期待したい」と笑顔をのぞかせました。このあと、秋サケ定置網漁は、11月下旬まで続きます。

磯浜漁港に5艘目となる新造船が登場！

人気音楽バンド「ポルノグラフィティ」から漁船が寄贈されました

先月16日(火)、秋サケの定置網漁が始まったばかりの磯浜漁港に、「ポルノグラフィティ」の岡野昭仁さんと新藤晴一さんが訪れました。

今回の訪問は、昨年開催したライブで販売したチャリティーグッズの収益金とライブに訪れたファンから集めた募金で購入し、漁協山元支所に贈った漁船を見学に来たものです。

寄贈された漁船は、長さ約10.5m、重さ2.66tの船外機付きの和船で、船名は「㊦丸(まるぼまる)」この名前は、一般公募により1,000を超える候補の中から選ばれたもので、「ポルノグラフィティの周りにできたみんなの想いの輪の力で贈ることのできた船」という意味が込められているそうです。

この日、漁港に浮かぶ漁船を目にした岡野さんは「漁師の皆さんのお役に立ててうれしい。このつながりを大事にしていきたい」、新藤さんは「音楽を通じて皆さんとつながることができてうれしい。船とともに支援してくれたファンの気持ちも一緒に海に浮かべてほしい」と話し、漁協山元支所の岩佐敏副運営委員長は「4艘の漁船とわずか15人の漁師ですが、何とか漁業を復興させたいと思い、現在頑張っています。そんな折、貴重な漁船を寄贈いただき、本当にありがとうございます」と感謝の気持ちを述べ、朝水揚げしたばかりの秋サケを2人にプレゼントしました。

その後、2人はさっそく㊦丸に乗り込んで乗り心地を確かめたほか、中浜沖合いで今後主に使われる秋サケの定置網漁を見学しました。

※所属事務所の意向により、残念ながら当日のおふたりの様子はご紹介できません。



真新しいこの漁船には、全国からの支援の想いがたくさん詰まっています

食欲の秋 自慢の味で町をPR

■名豆秋の特産市が開催されました

先月2日(火)、3日(水)の両日、仙台市勾当台公園市民広場を会場に、「きてけさいん！名豆秋の特産市」(名豆地場産業振興協議会主催)が開催されました。

このイベントは、本町をはじめ、名取市、岩沼市、亶理町への誘客を図ることを目的に、平成21年度から毎年開催され、今年で4回目となります。

両日ともあいにくの雨模様となりましたが、2日間で約11,700人が来場。本町から出店した「佐藤蒟蒻店」は、自慢の玉こんにゃくやみそ田楽の販売を通じて本町の「食」をPR。会場内では、各地の特産品を買い求めたり、ほおぼったりする人々の姿が見られるなど、大いに賑わいました。



来場者とふれあひながら、「町の食」をPR

■「ねんりんピック」「みやぎまるごとフェスティバル」に本町から出展

先月13日(土)から15日(月)にかけては、宮城県を会場として「ねんりんピック宮城・仙台2012」が開催されました。本町からは、「山元町りんご組合」と「佐藤蒟蒻店」が出展し、山元町の旬な地場産品をPRしました。

また、先月13日(土)、14日(日)の両日には、県庁前駐車場ほか3会場で、「みやぎまるごとフェスティバル2012」が開催され、本町から出展した「うしのや」がやまもとの秋を代表する郷土料理「はらこめし」を販売。買い求めた来場者は、イクラと秋サケの身がふんだんに使われたご飯をほおぼり、食欲の秋を堪能していました。



ねんりんピック来場者に町特産のリンゴを大いにPR

“熱投”通じ、親睦と連帯感を深めあう

山元町小中学校連合父母教師会スポーツ大会

先月14日(日)、山下中学校体育館を会場に、山元町小中学校連合父母教師会主催によるスポーツ大会が2年ぶりに開催され、保護者や学校関係者など約200人が参加しました。

競技種目は恒例の玉入れ。そのルールは大会オリジナルで、2チームが対戦し、59個の白い玉と、最後に赤い玉をいかに早く入れられるかを競うというものです。

今大会には、各小中学校から10チームが参加。各チームとも、競技中、玉を早く入れるための作戦が随所に見られる熱戦が繰り広げられ、「残り1個」というところでの逆転劇も相次ぎました。

かごに狙いを定めて懸命に頑張るお父さんやお母さんの姿に、いつもは声援を受ける側の子どもたちが大声援を贈るなど、大人も子どもも大いにスポーツの秋を満喫し、お互いに親睦を深めあった1日となったようです。

【大会の結果】優勝 坂元小学校Aチーム 準優勝 山下小学校Aチーム



白熱した玉入れが繰り広げられました

深山頂上に「鎮魂の鐘」を！

NPO法人 山元・あしたの響き、建立に向け奔走中

現在、震災犠牲者の鎮魂と震災を後世に伝えることを目的とした「鎮魂の鐘」を深山山頂に建立する計画が進行しています。

この計画の発起人は、山下区在住の長岡久馬さん。長岡さんは、深山に魅せられ、平成18年からこれまでに1,300回以上も登り続けている深山愛好家。山頂には、「深山ノート」を備え付け、登山者に自由にその時の思いをつづってもらっていますが、震災以降、このノートにつづられた「震災の犠牲となった友人や親族に対する哀惜の思い」「1日も早い町復興への願い」などの書き込みを目にし、被災した沿岸部が一望できるこの山頂に、「鎮魂の鐘」を建立することを決意しました。

長岡さんは、さっそく友人や登山仲間らに呼びかけ、賛同を得た15人とともに、今年3月に運営団体「山元・あしたの響き」を設立、6月には県の認可を得てNPO法人化し、自ら理事長に就任して、活動を本格化させました。「鎮魂の鐘」は、直径40cm、重さ65kgの手動回転式で、眼下に町沿岸部を見下ろす山頂東側に土台となる石製のテラスとともに建立する計画です。

同団体では、現在、個々のメンバーがこの事業の広報活動を行うとともに、定期的に会議を開催し、今後の活動計画や建立にかかる資金の調達などについて協議を重ねています。

長岡理事長は「沿岸部を一望できる山頂は、震災犠牲者を悼む祈りの場に最適な場所です。ぜひ、この計画を実現させ、深山が町にとって大切な場所であることを再認識してもらいかけにしたい」と意気込みを語っていました。

山元・あしたの響き事務局(長岡理事長宅) ☎37-3364



「鎮魂の鐘」完成模型を前に、建立に向け協議を重ねるメンバーの皆さん(10月20日の役員会の様子)

町の復興応援隊！

全国からの派遣職員の皆さんを紹介します

町では、今年度、震災からの復興・再生に向けた膨大な事務事業に、迅速かつ的確に対応するため、北は北海道、南は宮城県まで、45の自治体等から63人の職員(11月1日現在)の方々を「チーム山元」のメンバーに迎え、新たな町づくりに取り組んでいます。このコーナーでは、10月から新たなメンバーに加わった派遣職員の皆さんから「町に対する支援への思い」「派遣期間中の抱負」などを伺い、「ご紹介」します。

北海道札幌市都市局
建築部 建築保全課



鈴木 友訓さん

派遣期間
10月1日

～平成25年3月31日

配属先 震災復興整備課

担当業務

災害公営住宅の建設ほか、震災復興整備事業に関する業務

支援に対する思い・派遣期間中の抱負など

私にとって今回の派遣は、昨年の宮城県での応急仮設住宅建設事業に続き、2度目の東日本大震災に関わる復興業

北海道芽室町
企画財政課



佐藤 史彦さん

派遣期間
10月1日～12月31日

配属先 危機管理室

担当業務

東日本大震災記録誌作成事務、地域防災計画策定事務

支援に対する思い・派遣期間中の抱負など

ゲートボール発祥の地、スイトコーン生産量日本一の芽室町から3人目として派遣されました。8月の花火大会の際に初めて山元町に来た時には、震災から1年以上が経

過してはいましたが、実際に目にする光景、被害の痕跡は、報道などから想像していたもの以上であり、衝撃を受けました。

皆さんは既に復興に向けて動き出していますが、私も夏の野球、冬のアイスホッケーで培った体力を生かし、微力ではありますが、山元町の早期復興の力になりたいと思っています。

危機管理室では、東日本大震災記録誌の作成も担当します。取材などのご協力をお願いします。その際はよろしくお願いします。

群馬県教育委員会事務局
総務課



片貝 隼巳さん

派遣期間
10月1日～12月31日

配属先 生涯学習課

担当業務 文化財の保護

支援に対する思い・派遣期間中の抱負など

震災から1年以上が経過しました。報道等で被災地の状況を見聞きする機会もだいぶ少なくなってきたと思います。しかし、今回山元町に来て、実際に地震で倒壊した、また津波に飲み込まれた町に自分の足で立ち、現地の方々の生の声や周囲の被災状況を目の当たりにした時、震災の凄まじさ、忘れてはいけない恐ろしさ、虚しさ等を改めて実感しました。

町全体の復興には、今後まだ多大な時間と労力がかかるであろう現状を考えると、私の3カ月という派遣期間はあまりにも短く微力ですが、一日でも早い復興に向けて、たとえわずかであっても力に

なることができればと思います。
 精一杯頑張りますので、よろしく願います。

東京都新宿区
子ども家庭部 保育課



くろかわ さん 黒川 哲さん

派遣期間

10月1日～11月30日

配属先 被災者支援室

担当業務

被災者生活再建支援業務、民間賃貸住宅借上げ関連業務

支援に対する思い・派遣期間中の抱負など

山元町に赴任した初日に、まだガレキ等が存置されている海沿いの悲惨な光景を目の当たりにし、改めて今回の被害の甚大さを感じています。

配属先では、業務上、仮設住宅への訪問や窓口での各種支援制度の申請受付等で、被災された方々と接する機会が多いのですが、どの方もご自身の将来のため、前向きに進んでおられる様子を感じ、私のほうが逆に勇気づけられて

いる日々です。

2カ月間という非常に短い期間ですが、今の自分にできることを十分に考え、山元町の復旧・復興のため、また、被災された方々が一日でも早く以前のよう安心して過ごせる生活を取り戻していただくよう、微力ながら精一杯のお手伝いをしたいと思っています。

神奈川県横浜市 水道局
給水部 北部工事課



つちだ えつお 土田 悦男さん

派遣期間

9月27日

～平成25年3月31日

配属先 上下水道事業所

担当業務

水道施設復旧工事監督業務

支援に対する思い・派遣期間中の抱負など

山元町の職員としてようやく1カ月が経ち、業務や生活に早く慣れようという心がけているところです。この間、職員および町民の皆さんには温かく接していただき大変感謝しています。

私個人としては、過去の震災（阪神・中越）の際には支援の機会がありませんでした。今回は、縁あって山元町へ派遣となり、1年半が過ぎても震災の跡を目の当たりにして、身の引き締まる思いです。私の知識と経験が山元町のお役に立てるか、不安なところではありますが、頑張っていきたいと思っています。

愛知県岡崎市
総務部 財産管理課



こくぼ てつろう 小久保 哲郎さん

派遣期間

10月1日～12月31日

配属先 総務課

担当業務

派遣職員に関わる派遣元自治体との調整および派遣受入に関わる調整業務

支援に対する思い・派遣期間中の抱負など

山元町に赴任してから1カ月が経ちました。まだまだ、仕事面でも生活面でも慣れないことが多くあり、1日があつと言つ間に過ぎてしまいま

今回、実際に被災地を拝見しましたが、言葉が失うほどの大きな衝撃を受けました。被災された方々がどれだけ大変な思いをされたのか、今、自分が何となく毎日生活を過ごすことができる幸せやありがたさなど、たくさん感じています。3カ月という短い期間、また、23歳という未熟者ではありますが、山元町の復興のお役に立てるように頑張りたいと思っています。業務としては、派遣職員の調整業務で、町民の皆さんと直接関わる機会が少な

いかもしれませんが、山元町役場の支えとして一生懸命取り組みたいと思っています。よろしくお願いします。

3カ月という短い期間、また、23歳という未熟者ではありますが、山元町の復興のお役に立てるように頑張りたいと思っています。業務としては、派遣職員の調整業務で、町民の皆さんと直接関わる機会が少な

いかもしれませんが、山元町役場の支えとして一生懸命取り組みたいと思っています。よろしくお願いします。

三重県津市
建設部 津北工務事務所



たかやま ともき 高山 知之さん

派遣期間

10月1日～12月31日

配属先 震災復興整備課

担当業務

災害復旧工事の監督・設計
支援に対する思い・派遣

期間中の抱負など

山元町の職員となり数日経ちましたが、津市の気候と比べて大変涼しく感じています。震災被害については、テレビ等の報道ぐらいしか知らず、こちらに來させていただき、被害状況を目の当たりにして、その深刻さにびっくりしました。

しかしながら、少しずつ復興している町の様子も見えてきています。3カ月という短い期間であり、またわからないことだらけではありますが、職場の方や地域の方々のご協力のもと、少しでも復興のお力になれるように精一杯努めたいと思いますので、よろしくお願いします。

「チーム山元」
世をひとつに！

三重県津市
建設部 宮繕課



たに で かつあき 谷出 克章さん

派遣期間

10月1日～12月31日

配属先 まちづくり整備課

担当業務

公共施設の災害復旧業務等

支援に対する思い・派遣期間中の抱負など

10月から震災復旧の派遣で、まちづくり整備課にお世話になることになりました。津市から、派遣され始めてちょうど一年になります。町内を回り、いろいろな所を見させていだきましたが、本当にこれくらいだなという感じがします。

震災当初に比べて、公共施設の復旧が進んだように思われますが、まだまだ広い意味で片付けに追われている感じがし、自分に何ができるのか不安なところもありますが、出来ることを精一杯頑張りたいと思います。

3カ月と短い期間ではありますが、よろしく願います。

兵庫県朝来市
市民文化部 税務課



おおいし てつや 大石 哲也さん

派遣期間

10月1日～12月31日

配属先 税務納税課

担当業務

固定資産税家屋課税業務

支援に対する思い・派遣期間中の抱負など

私が住む兵庫県では、阪神・淡路大震災や度重なる台風被害の苦い経験から、被害家屋の調査を速やかに行える認定士を養成する制度を採用しており、私もその資格保有者の1人です。

昨年、あの日からちょうど1カ月経った4月、私はその調査任務のため、初めて山元町に足を踏み入れました。予想以上の被災棟数に調査は困難を極めました。町職員をはじめ他自治体の応援職員と協力しながら、何とか7月ごろには概ね調査を終えることができました。

当時、遠く関西の馴染みの薄い自治体からやってきた職

員を快く迎え入れてくれた職員の皆さん、また調査先で「遠くからありがとう」と自らが被災しているにもかかわらず、声をかけてくださった町民の皆さんの温かい気持ちには、逆に勇気付けられたことを覚えています。

今回、税務業務についての派遣要請があり、少しでもその時の恩返しがあればと再びやってまいりました。何か帰ってきた気分です。3カ月という短期間ではありますが、自身の税務実務経験を生かし、チーム山元の一員として精一杯努力したいと思っていますので、3カ月間よろしく願います。

広島県江田島市
産業部 農林水産課



ふるい としひこ 古居 俊彦さん

派遣期間

10月1日～12月31日

配属先 産業振興課

担当業務

農地・農業用施設災害復旧事業およびほ場整備事業

支援に対する思い・派遣

期間中の抱負など

山元町への派遣は、今回で2回目になります。昨年は、6月から11月まで半年間をこの町で過ごしました。始めは、旧庁舎での慌ただしい毎日でした。時々起きる地震に、不安になりながら過ごしていたことを思い出します。

広島に帰ってから山元町がどうなったか気になっていましたが、縁あって再び訪れることができました。来て最初に感じたことは、町が計画どおり復旧・復興に向けて進んでいることでした。津波の被害を受けた田には稲が実り、イチゴハウスもあちこちに建設され、暗かった町に明かりが灯り、生活も少しずつ落ち着きはじめてように思えました。

今回の派遣期間は短いですが、頑張っている山元町をいつまでも応援しています！

頑張りましょう！
ともに手を携えて

愛媛県八幡浜市
産業建設部 水産港湾課



むかい みつひろ 向井 光広さん

派遣期間

10月1日～12月31日

配属先 まちづくり整備課

担当業務

被災家屋解体工事に関する業務、災害廃棄物仮置場管理に関する業務

支援に対する思い・派遣期間中の抱負など

今年度、八幡浜市から山元町への派遣は私で3人目です。被災の状況は、先に派遣された職員や報道機関からの情報を見聞きしていましたが、実際に現地に降り立ち、改めてその甚大さに言葉を失いました。

東北の冬は寒さが厳しいと聞いています。四国・愛媛育ちの私にはより厳しさを感じるとは思いますが、体調を崩さぬよう努め、微力ではありますが山元町の早期復興に向けて頑張りたいと思います。3カ月と短い期間ではありますが、よろしく願います。

平成24年度成人式

日時 平成25年1月13日(日)
14時～(13時から受付)
会場 中央公民館大ホール
対象 平成4年4月2日～
平成5年4月1日生まれの方
※山元町出身で、現在町外にお住まいの方も出席できます。

成人式実行委員会が発足！

平成24年度成人式のアトラクションを企画し、盛り上げてくれる実行委員会が発足しました。引き続き、実行委員を募集しています。成人式と一緒に盛り上げませんか。



平成24年度成人式実行委員の皆さん

生涯学習課

山元ボランティアサークル虹活動中！
「お月見会」を開催
中秋の名月にあたる9月30日(日)18時から、町内の小学生を対象にした「お月見会」が勤労青少年ホーム軽運動場で開催されました。当日は、台風の影響に伴い、あいにくの天候となりましたが、わずかながら満月を見ることができました。参加者は、ジュニアリーダーが準備したアトラクションやゲームで楽しんだほか、ゲストに「やまもと民話の会」の庄司



お月見に関するゲームで盛り上がりました

アイさんを迎え、お月見に関するお話を聞きました。会の最後には、ジュニアリーダーが手作りの「だんごストラップ」が参加者全員にプレゼントされ、盛会のうちに会を終えることができました。

柔道スポーツ少年団が好成績！

宮城県柔道スポーツ少年団形競技(8月26日(日)開催)・形競技(敬称略)
優勝 渡辺孝高・齋藤 祥(山下中3年)
※渡辺、齋藤ペアは、小学校6年生・中学校1年生でも連続優勝しており、震災の影響で2年ぶりに開催

なほ、冬には、毎年恒例のクリスマス会を計画しています。ご期待ください。
生涯学習課

いつでも どこでも だれでも 生涯学習コーナー

問い合わせ

生涯学習課
中央公民館 37-5116
勤労青少年ホーム
体育文化センター 休館中

坂元公民館 38-0415
歴史民俗資料館 37-0040
ふるさと伝承館 37-3150
深山山麓少年の森 37-3150

世界のゲームやおもちゃで遊ぼう



外国の子どもたちは、どんなおもちゃやゲームで遊んでいるのか考えたことがありますか？外国人の先生たちと一緒に、海外の遊びを体験してみよう。

日時 12月15日(土)
13時30分～16時
場所 勤労青少年ホーム

対象 小学生
定員 50人
参加費 無料

※申込み方法などは後日ポスターやチラシでお知らせします。
生涯学習課

愛媛県今治市 都市建設部公園緑地課



こんどう たけし 近藤 武志さん

元に戻っても、「東日本大震災を忘れない」「忘れていないことを伝え続けることが、被災地から遠く離れた私たちが、身近にできることではないか」と思っています。

派遣を志願しました。山元町に来て1か月が経ちましたが、窓口で被災者の方から当時の状況や今後の生活の見通しなどの話を聞くたびに、言葉が失ってしまいます。短期間での派遣となりますので、震災当初から長期にわたり復興に従事されている地元職員の方々の負担を少しでも軽減できればと思っています。見かけによらず、人見知りですが、どうぞよろしくお願い致します。



ともまつ きよひこ 友松 潔彦さん

宮崎県宮崎市 税務部 国保収納課

派遣期間

10月1日～12月31日

配属先

震災復興企画課

担当業務

震災復興事業の実施および実施に係る関係機関との調整

支援に対する思い・派遣期間中の抱負など

震災発生直後、同じ日本で起きていることが理解できないくらい衝撃的でした。翌日新聞の一面を飾った大量の瓦礫の前で女性が座り込んでいる写真は今でも目に焼き付いています。行橋市では、職員青年部を中心に様々な活動を行いましたが、後々明らかになってくる様々なエピソードが報道されるたび、「やはり現地に行くべきだ」と思い、



いわみ けんたろう 岩見 健太郎さん

派遣期間

10月1日～12月31日

配属先

用地・鉄道対策室

担当業務

JR常磐線復旧に関する計画調整、震災復興関連事業の事業用地取得等

支援に対する思い・派遣期間中の抱負など

昨年の地震発生時、私は職場ロビーに設置されているテ

レビを通じて未曾有の大震災の状況を知りました。報道が繰り返されるたびに「少しでも力になりたい」「口蹄疫等で支援をいただいた皆さんに恩返ししたい」という思いが強くなり、山元町への派遣を希望しました。宮崎市と山元町の地形は非常に似ています。真つ直ぐな海岸線や平野部に広がる田園風景など、初めて訪れるこの地にどこか親しみを覚えます。短期間の派遣ではありますが、山元町復興に向けて全力で取り組みたいと思います。また、出会いや経験を貴重な財産として、防災や地域コミュニティのあり方などあらゆる分野にアンテナを張り巡らせ、毎日を大切に過ごしたいと考えています。

宮崎県宮崎市 企画財政部 秘書広報課



しょうじ さおり 庄司 沙織さん

派遣期間

10月1日～12月31日

配属先

学務課



担当業務
学校施設の災害復旧事業
支援に対する思い・派遣期間中の抱負など
初めて山元町を訪れた日、東日本大震災で大きな被害を受けた中浜小学校に行ってみました。テレビなどの報道でしか震災の状況を見ていなかった私は、実際にその場に立つて建物や周囲を見渡したとき、想像をはるかに超える状況に大きな衝撃を受けました。震災から1年半が経過した今、町では、町民の皆さん、役場職員の皆さんなどが、一丸となって復興に向かって進んでおられます。3カ月という限られた派遣期間ではありますが、私も、自分ができることに精一杯取り組みたいと思っています。山元町の皆さん、よろしくお願い致します。

東日本大震災では、多くの町民の皆さんが恐ろしい津波を体験しました。あれから1年8カ月の時が過ぎ去ろうとしていますが、まだ思い出しにくい、話したくないという方もたくさんいると思います。

しかし、再び自然が私たちに襲いかかる日は、いつやって来るかわかりません。皆さんの貴重な体験を記録し、後世に伝えていくことが多くの尊い命を救うことにつながると信じ、「広報やまもと」では、被災した沿岸7行政区(牛橋・花笠・笠野・新浜・中浜・町・磯)を中心に皆さんの体験談を伺い、連載していきます。

戦争の爆撃でもあったかのような 悲惨な光景が今でも忘れられない

私は、あの日、収穫したイチゴを選果場に持って行った後、換気をするために自宅から2キロほど離れたイチゴハウスにいました。ハウスに入った途端、激しい揺れに襲われた私は、ハウスのパイプに必死にしがみつき、揺れが収まるのを待ちました。

ようやく揺れが収まり、自宅の様子に気がついた私は、自宅に向かいました。その途中あちらこちらで、塀が倒れていたり、瓦が落ちていたりする光景を目にし、わが家はどうなっているのか不安が募りました。自宅に到着すると、すぐに家の中や外回りを確認。棚から物が落ちていたもののテレビなどは倒れておらず、また屋根瓦にも被害がなかったことから安堵したのを覚えています。

そのうち自宅前には、私を含め近所の数人が集まり、「うちは瓦が落ちた」とか「津波警報が出て、こっちにも3メ



笠野区
齋藤 謙一さん

ートルの津波が来るってラジオで放送していたよ」など、お互いに情報交換をしあっていました。あの時、私自身、防災無線のサイレンが鳴っていたことや津波警報発令の話を聞き、「津波がくるかもしれない」ということを認識していました。かつての宮城県沖地震の記憶と重なり、「あの揺れで津波が来なかったんだから、今回も津波など来るはずがない。来ても、大雨ん時の高潮で浸水する程度だ」と勝手に思い込んでいたように思います。

そのように思っていたためか、近所から徳泉寺で多数墓石が倒れているとの情報を耳にした私は、ためらうことなく確認に向かいました。もう、この時には津波のことなど全く頭にありませんでした。しかし、お寺に向かう途中、前



津波はものすごい勢いで押し寄せ、住宅やハウスなど、次々と飲み込んでいった(高瀬字天王川付近)

方から来た近所の方から「駄目だー早く逃げろー」と叫ばれふと東方に目を向けると、なんと防潮林を超える高さの真つ黒い津波がこちらに向かってくるのが見えたのです。

私は、すぐにウターン。車のミラー越しに何もかも次々と飲み込んでいく津波を確認しながら、自宅に向け猛スピードで車を直進。そのまま西に向かえばよかったのに、なぜあの時、自宅に戻ったのか、今でも不思議でなりません。

自宅に到着し車を降りるとすぐに、水は自宅の庭まで押し寄せ、私はすぐさま外階段のあった自宅隣の納屋2階に駆け上がりました。そこから海の方を見ると、怪獣が踏み潰すかの如く、バリバリバリッという鈍い音とともに、津波が押し寄せ次々とハウスや家屋などを飲み込んで

いく光景が目に見え込んできました。

そのうち、納屋が傾き始めたため、私は廊下続きの自宅に移動。2階ベランダからさらに高い2階の屋根によじ登ろうとしたが、滑って登ることができず、現状で一番高い屋根の先端部分に留まって津波が収まるのを待つしかありませんでした。その後水かさはどうぞん増していき、もう駄目かと思った時、増水が止まり九死に一生を得ました。

私は、当時を振り返り、今でも鮮明に覚えていることがあります。それは、震災の翌朝目にした、自宅前にはるはずのない徳泉寺の銅板の屋根が流れ着いている光景。すっかり水が引いた自宅周辺に広がるまるで戦争の爆撃でもあったかのような悲惨な光景。二度と忘れることができません。

私は、まさかこんな大津波が来るとは夢にも思っていま

後世に語り継ぐ 私の津波体験 ～あの時、私は～

命を救ってくれた町の広報車に感謝 今後は私なりに震災のことを伝えていきたい

3月11日、私は一人で自宅にいました。突然、今までに経験したことのない激しい揺れに襲われ、その揺れの強さに立っていることができず、しゃがみこんで通し柱にしがみついていた。それはもう、体が大きく左右に揺さぶられ床にぶつかるほど激しいものでした。

長かった揺れがようやく収まり、呆然としていたところに、外出していた夫が北保育所から孫娘を連れて帰宅。夫の「外に出ろー」という声で、私は我にかえり立ち上がろうとしましたが、腰が抜けて立つことができませんでした。

やつとの思いで立ち上がった私は外に出て、夫とともに昨年秋に修理したばかりの屋根を見上げ、「大工さんが言っていたとおり、こんなに大きな地震がきたのに本当に大丈夫だったね」などと話していたように思います。当時を振



笠野区
星 禮子さん

り返ると、ついつつ放しだったテレビに映し出された大津波警報発令の映像を私は見ていたはずなのに、あの時は、屋根が無事だったことで安心しきっていたんでしょうね。この後、津波が来るなんて思いもしませんでした。

そんな時、自宅前を「早く避難してくださいー」と広報する町の車が通過。そこで初めて、夫と私はハッとして「避難しなければ」と行動を開始。私の車に孫娘のチャイルドシートを装着し、3人で車に乗り込もうとした時のことです。

後方からバリバリバリッという今までに聞いたことのない音が聞こえ、夫が東方に目を向けると、線路の電線を超える高さの津波が線路をも飲み込もうとしているところでした。



津波は見慣れた風景を跡形もなく飲み込み一変させた

夫の「津波だ！早く2階に上がれー」という大声に、私は孫娘を抱える夫とともに、無我夢中で自宅の階段を駆け上りました。迫り来る津波を振り切り、安心したのもつかの間、今度は頭上から津波に襲われ、私たちはあつという間に首まで浸かつてしまいました。私の「このままでは孫娘が危ない。どうしよう？」との問いかけに、夫は「屋根に上がるしかない！」と叫び、私は孫娘を抱きかかえる夫の指示で、思うように身動きがとれない水の中、必死でトイレの格子戸を蹴破り、やつとの思いで家の中から脱出、屋根の上にはい上がりました。

そこでまず目に飛び込んできたのは、自宅付近にあるはずのない清掃センターでした。なんと、私たちが家の中でも

がいている間に、自宅は50メートル以上も流されていたのです。さらに、見慣れた風景も一変、見渡す限り一面湖と化し、ガレキの山が散在する風景が広がっていました。とても信じられませんでした。一面水に囲まれた私たちに、もうどうすることもできず、また来るかもしれない津波に備え、屋根の一番高いところで助けを待つしかありませんでした。ただ「孫娘だけはなんとしてでも助けたい」その一心で、凍えるような寒さの中、私は孫娘をしつかりと抱き抱えていました。

そして真夜中、私たちの居場所をつきとめ、消防団の制止を振り切って真つ暗闇の水の中を来てくれた息子らに私たちは救出されました。

私は思います。もしあの時、町の広報車が避難を呼びかけてくれなかったら、今ごろきつと。私は命がけで避難を呼びかけた町職員の方々に命をいただきました。同じように救われた数多くの命があると思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからは津波を体験した一人として、「津波の恐ろしさ」「自分の実体験」を私なりに伝えていきたいと思っています。



3歳児健診で虫歯のない子
(9月5日実施分)

大平
さとう ちい
佐藤 知依ちゃん
(克利さん)

下郷
いわさ りょうと
岩佐 遼人ちゃん
(廣光さん)

山寺
きくち あれん
菊地 空運くん
(厚志さん)

横山
あらい とうや
新井 柊也ちゃん
(隆之さん)

横山
おおみや ゆうま
大宮 悠真ちゃん
(哲也さん)

4種混合ワクチンの接種を開始しました！

町では、11月から従来の3種混合ワクチン(ジフテリア・百日咳・破傷風)と単独のポリオワクチンの他に、新たに4種混合ワクチン(ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)を導入しました。

3種混合ワクチンと単独のポリオワクチンどちらも未接種の方は、4種混合ワクチンの接種を受けてください。

- 対象者 町民で生後3カ月から90カ月未満の方(標準的な初回接種年齢は3カ月～12カ月)
※3種混合ワクチンと単独のポリオワクチンのいずれの予防接種をまだ一度も接種されていない方
- 実施期間 11月1日から(対象年齢であれば通年受けることができます) ■接種料金 無料
- 接種回数 計4回の接種が必要となります

1期初回接種 → 20日から56日までの間隔を空けて3回接種

1期追加接種 → 初回接種終了後、6カ月以上空けて1回接種

(標準的な追加接種の時期は、初回接種終了後12カ月から18カ月に達するまでの期間)

【注意】原則として、4種混合ワクチンと3種混合ワクチン(および単独のポリオワクチン)の併用はしないこととされています。そのため、既に3種混合ワクチンまたは単独のポリオワクチンのどちらかの接種を1度以上受けられた方は、4種混合ワクチンは接種せず、3種混合ワクチンと単独のポリオワクチンを規定回数接種することとなります。

ただし、ワクチンの入荷状況により接種が完了できない場合等であって、接種スケジュール上支障がない場合に限り、単独の不活化ポリオワクチンと4種混合ワクチンを併用することが可能です。

■実施医療機関

【山元町】

医療機関名	住所	電話	医療機関名	住所	電話
菊地内科医院	浅生原字作田山2-72	37-3300	松村クリニック	坂元字道合70	38-0005

【亘理町】

医療機関名	住所	電話	医療機関名	住所	電話
板橋胃腸科肛門科	逢隈中泉字沼添74-1	35-8911	氏家医院	字館南86	34-1320
大友医院	字五日町39	34-1335	大友医院ヒロミ小児科	字下小路18-1	34-3204
熊谷内科医院	字中町東171-1	34-5140	浜吉田駅前内科	吉田字大谷地72-736	33-7377
三上医院	字裏城戸179-1	34-3711	やべ内科クリニックわたり	吉田字松崎70-1	34-3003
山形外科医院	字旧館17-1	34-3171			

※問診票・説明書等は上記医療機関に備え付けてあります。

保健福祉課 健康推進班 ☎37-1113(内線133)

第9回やまもと食育フェア

ふれあい産業祭に合わせて、「見て」「食べて」「体験できる」食育イベントを開催します。

～メインテーマ「災害に備える食」～

とき 11月23日(金・祝) 10時～15時

ところ 保健センター(役場敷地内)

ジュニくんも
やってくるよ!!



■フジテレビによる食育イベント

12時30分～13時30分

「ハロー!どっこくん」

～かっこいいうちと

おともだちになろう!～

○大型紙芝居「ハローどっこくん」

○アナウンサーによる発声練習

○「どっこくん体操・ジュニ体操」など

出演(予定) フジテレビ 梅津 弥英子アナウンサー

仙台放送 広瀬 修一アナウンサー

■体験しよう

○フルーツパンケーキを作ってみよう(先着100人)

○災害に備える食の準備は大丈夫ですか?

～防災関連食品展示・試食～

■食べてみよう

○試食 つきたて餅・鮭のつみれ汁

(先着200人・整理券配布します)



■チェックしてみよう

○血管年齢・健骨度・脳年齢・血圧・呼気中のCO₂が測定できます。

○保健師・栄養士による健康相談
※時間のかかる検査は整理券を発行させていただきます。

保健福祉課 健康づくり班

保育所給食人気のメニュー

「五目浸し」

材料(4人分)

- ・ホウレン草 160g
- ・モヤシ 40g
- ・人参 40g
- ・キャベツ 30g
- ・芽ヒジキ 12g

「・しょうゆ 大さじ1

A

「・砂糖 大さじ1.5

- ①ホウレン草はゆでて食べやすい長さに切り、水気を絞る。
- ②モヤシをゆでて冷ましておく。
- ③人参、キャベツはせん切りにし、ゆでておく。
- ④芽ヒジキは水で戻し、さっとゆでて水気を絞っておく。
- ⑤ボウルに①～④を入れ、Aで味をつける。

エネルギー 28kcal
タンパク質 1.7g
塩分 0.8g



このコーナーでは皆さんの健康や福祉に関する情報を紹介します

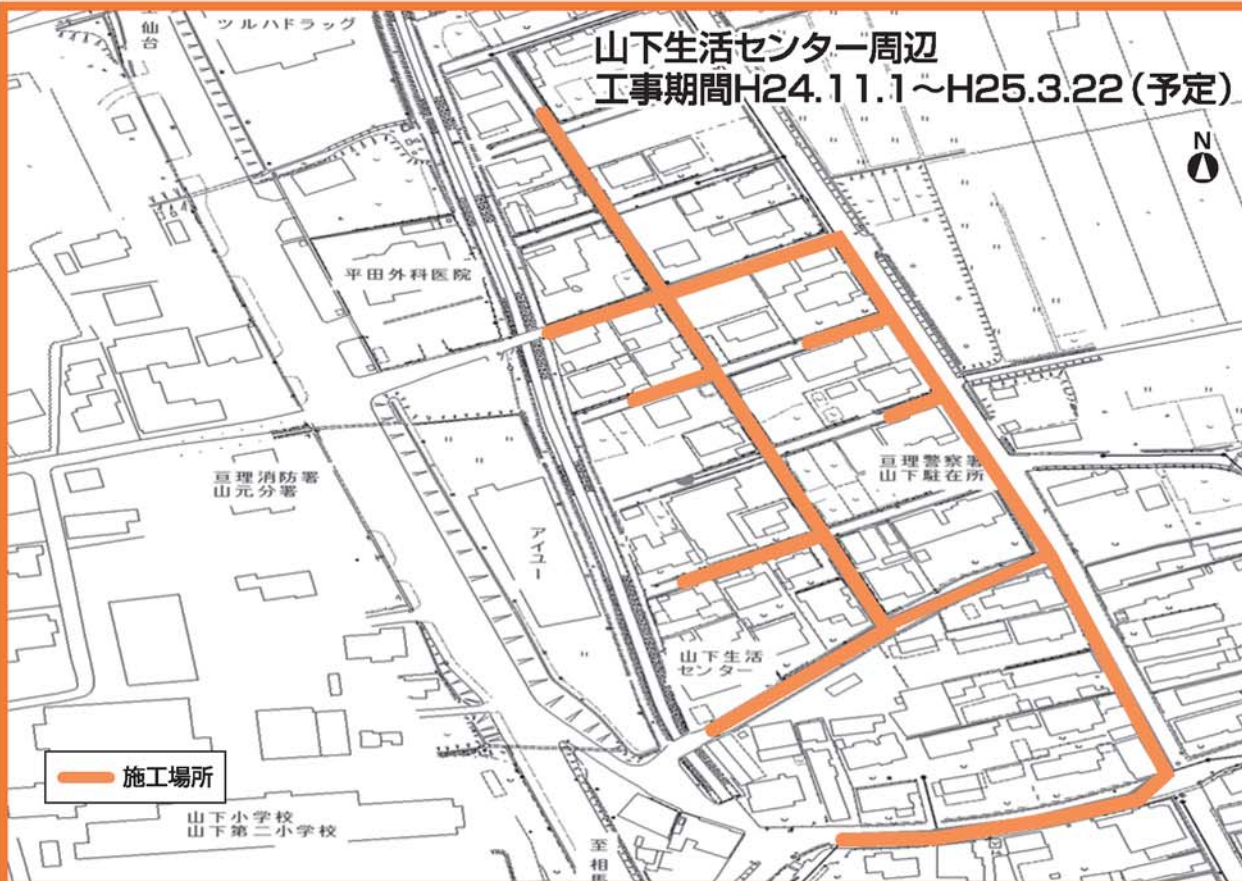
問い合わせ 保健福祉課 ☎37-1113
内線 すこやか福祉班143 保険給付班147 健康推進班132



上下水道事業所からのお知らせ



東日本大震災に伴う災害復旧工事として、次の箇所で下水道工事が始まります。
工事の際には通行制限等により大変ご不便をおかけしますが、皆様のご理解とご協力をお願いします。
また、工事期間中は誘導員の指示に従っていただきますよう併せてお願いします。
なお、工事に関する詳しい内容等については、今後も広報や別途回覧等でお知らせします。



※工事の進捗や天候不良、施工条件等により、工事期間が延長になる場合がありますのでご了承願います。

問 上下水道事業所 施設班 ☎37-1120 (内線254)

水道メーター検針員を募集します

応募資格 町内在住で、3年以上業務を遂行できる方 ※年齢、性別は問いません。
募集人数 1人
業務内容 各家庭に設置してある水道メーターの指針をハンディーターミナル(携帯用端末装置)に入力し、お知らせを配布します。なお、町内の移動は自家用の自動車、バイク、自転車等で行なうこととなります。
検針日 毎月15日～25日の期間内に担当地区の検針を行っていただきます。
担当地区 町内全域(主に花釜区、高瀬区、真庭区、合戦原区、町民グラウンド団地)
検針件数 1カ月当たり250件～550件
単価 1件当たり65円
保険 日本水道協会の委託検針員等傷害保険に町負担で加入します。
申込方法 市販の履歴書に必要事項を記入し写真貼付のうえ下記担当まで持参してください。
申込期限 11月30日(金)17時まで
選考方法 書類選考により決定します。

問 上下水道事業所 庶務班 ☎37-1120(内線251)

未健(検)者検診のお知らせ

9月～10月に実施した特定健診、結核・肺がん検診、胃がん検診を受診しなかった方を対象に未健(検)者検診を実施します。

■実施日時 11月17日(土)7時30分～10時30分 ■総合受付場所 保健センター

健診名	対象者	健(検)診料金	備考
特定健診(基本健診)	16歳以上の方で町が実施した特定健診(基本健診)を受けていない方	・16～39歳の方:無料 ・75歳以上の方:無料 ・40～74歳の方:1,500円	町国民健康保険加入者以外の40～74歳の方は「特定健診受診券」と「保険証」を必ず持参してください。
結核・肺がん検診	40歳以上の方で町が実施した結核・肺がん検診を受診していない方	・40～64歳の方:500円 ・65歳以上の方:無料	
胃がん検診	35歳以上の方で町が実施した胃がん検診を受診していない方	2,200円 (農協組合員は2,000円)	

※特定健診の74歳以下の方は心電図・眼底・貧血の検査が含まれています。75歳以上の方の基本健診は無料ですが、心電図・眼底・貧血を希望する場合には別途料金がかかります。

がん検診のお知らせ

子宮がん・前立腺がん検診を次の日程で行います。なお、申し込み者には11月中旬に受診票をお送りします。

前立腺がん検診(検査内容 血液検査)

■対象者 50～79歳の男性 ■受付・検診場所 中央公民館 2階会議室

■個人負担金 900円(検診料金2,100円のうち1,200円を町が助成しています)

検診日	受付時間	対象地区	検診日	受付時間	対象地区
12月18日(火)	8:30～9:00	高瀬・横山	12月19日(水)	8:30～9:00	花釜(0～45班)
	9:00～9:30	大平		9:00～9:30	花釜(46班～)
	9:30～10:00	小平		9:30～10:00	町・新浜
	10:00～10:30	鷺足・山寺・合戦原		10:00～10:30	笠野
	12:30～13:00	八手庭・山下(0～24班)・真庭		12:30～13:00	久保間・中山・上平・中浜・牛橋
	13:00～13:30	山下(25班～)・療養所・浅生原		13:00～13:30	下郷・磯

子宮がん検診(検査内容 頸部がん検診・超音波検査)

■対象者 20歳以上の女性 ■受付・検診場所 保健センター

■個人負担金 3,100円(頸部)・3,100円(体部)

検診日	受付時間	対象地区	検診日	受付時間	対象地区
12月17日(月)	8:30～9:00	高瀬	12月18日(火)	8:30～9:30	山下(0～24班)
	9:00～9:30	横山		9:30～10:00	真庭
	9:30～10:00	大平		10:00～10:30	八手庭
	10:00～10:30	小平		12:30～13:00	山下(25班～)・浅生原
	12:30～13:00	鷺足・山寺		13:00～13:30	療養所
	13:00～13:30	合戦原	12月20日(木)	8:30～9:00	中山・牛橋
12月19日(水)	8:30～9:30	花釜(0～45班)		9:00～9:30	中浜
	9:30～10:00	新浜		9:30～10:00	久保間
	10:00～10:30	町		10:00～10:30	上平
	12:30～13:00	笠野		12:30～13:00	下郷
	13:00～13:30	花釜(46班～)		13:00～13:30	磯

※各検診料金7,014円のうち3,194円を町が助成 ※体部検診については症状のある方を対象に行います。
※個人負担金を支払う受診者で、農協組合員および農協女性部員は200円の助成があります。
※医療費の一部負担金免除証明書が交付されている方は、未健(検)診・がん検診が無料になりますので、受付でご提示ください。なお、免除証明書の有効期限が切れている方は、り災証明書(半壊以上)をお持ちください。

問 保健福祉課 健康推進班

税金情報

今月は町県民税(第3期)と国民健康保険税(第5期)の納期限です。
忘れずに11月30日までに納入しましょう!

■差し押さえ物件のインターネット公売を実施します!

1.入札参加申込期間

11月2日(金) 13時から11月16日(金) 23時まで

2.入札期間

○せり売形式

11月26日(月) 13時から11月28日(水) 23時まで

○入札方式

11月26日(月) 13時から12月3日(月) 13時まで

Yahoo! 官公庁オークション URL
<http://koubai.auctions.yahoo.co.jp/>

☎ 税務納税課 納税班 ☎ 37-1114(内線156)

■個人事業税第2期分の納期限は、11月30日(金)です

最寄りの金融機関または県税事務所で忘れずに納付してください。口座振替にされますと、納め忘れや金融機関等に足を運ぶ必要がなく便利です。

☎ 仙台南県税事務所

○課税に関すること 課税第二班 ☎ 022-248-2962

○納税相談に関すること 納税第一班 ☎ 022-248-2963

○納付方法および口座振替等に関すること

納税第二班 ☎ 022-248-2986

■平成24年分年末調整説明会のお知らせ

日時 11月14日(水)

13時30分開場(受付13時～)

場所 亘理町中央公民館

対象者 山元・亘理町内の源泉徴収義務者

その他 対象者には、別途年末調整関係書類とともに、開催日時等を記載した案内文を送付します。

☎ 仙台南税務署 ☎ 022-306-8001

法務省および全国人権擁護委員連合会は、関係機関等の協力を得て「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、人権尊重思想の普及高揚のための啓発活動を全国的に展開しています。

■特設人権相談日
この週間にあわせ、特設人権相談会を開設します。相談は無料で秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

日時 12月3日(月)
10時～15時

場所 第1会議室
(役場仮庁舎1階)
☎ 町民生活課 生活班
☎ 37-1112(内線121)
仙台法務局 人権擁護部
☎ 022-225-5739

全国一斉「女性の権利ホットライン」強化週間
仙台法務局および県人権擁護委員連合会では、11月12日(月)から18日(日)までの7日間、全国一斉「女性の権利ホットライン」強化週間を実施します。

「女性権利ホットライン」強化週間
実施します。
夫やパートナーからの暴力や職場でのセクシュアル・ハラスメントなど、さまざまな人権問題について、人権擁護委員が電話相談に応じます。

開設日時
○11月12日(月)～16日(金) 8時30分～19時
○11月17日(土)・18日(日) 10時～17時

※相談料 無料
※秘密厳守、予約不要
※ホットライン電話番号

生活保護の相談窓口
日時 11月21日(水)
12月5日(水)
10時～15時

場所 役場仮庁舎1階
第3相談室

※当日は、宮城県仙台保健福祉事務所の担当者が相談に応じます。
※前日まで、保健福祉課

運転免許証の日曜窓口
日時 11月18日(日)
12月2日(日)
8時30分～9時30分

受付 13時～14時

☎ 仙南運転免許センター
☎ 022-453-0111

やか福祉班に予約してください。
☎ 保健福祉課
☎ 37-1113(内線143)

町では、「東日本大震災」の概要や被害状況、応急・復旧対策、防災関係者やボランティアの活動など、地震の発生から今日に至るまでをまとめ、大震災の全貌を後世に伝えるとともに、今後の地震・災害対策や防災意識の高揚に役立て、復興に向けて進んでいくための記録誌を作成しています。

作成にあたり、町内において取材や写真の撮影を実施しますので、ご協力をお願いします。

なお、記者やカメラマンは、

おしらせ

東日本大震災記録誌
作成に関する協力の
お願い



町発行の証明書を持参し、腕章を付けています。
☎ 危機管理室
☎ 29-8002(内線215)

「思い出の品(被災写真以外)」の最終展示・引き渡し
町では、昨年5月31日から平成24年3月20日までに被災地域から回収された「思い出の品」の展示・引き渡しを実施し、その後もご要望に応じて引き渡しを行ってきま

現在は、返却数が減少し、物品の状態の悪化も進んでいることから、今回の展示・引き渡しを最終展示とします。展示・引き渡し期間終了後には、町で物品を処分する予定です。

位牌や遺影、賞状等(有価物以外)でお探しの物がありましたら、お早めにご確認ください。

なお、被災写真の展示・引き渡しについては、当分の間行いますので、ぜひふるさと伝承館へご来館ください。

展示・引き渡し場所
ふるさと伝承館

展示・引き渡し期間
11月1日(木)
～12月27日(木)
開館時間
9時～16時30分
休館日
毎週月曜日(祝日、振替休日の場合は開館)
※月曜日が祝日・振替休日の場合はその翌日
展示・引き渡し物品
・位牌や遺影
・記念品(賞状やトロフィー等)
その他
身分証明書を各持参ください。電話での物品の照会を行います。

第64回人権週間
人権週間とは?
国際連合は、昭和23年の第3回総会で世界人権宣言が採択されたことを記念し、採択日の12月10日を「人権デー」と定めたもので、加盟国に対し人権擁護活動を推進するための各種行事を実施するよう呼びかけています。

☎ 思い出回収事業担当
(役場総務課内)
☎ 37-1111(内線470)

ハローワーク仙台による巡回相談

ハローワーク仙台では、山元町において下記のとおり巡回相談を実施していますので、どうぞお気軽にご利用ください。

求人情報の提供や職業紹介など、お仕事探しに関するさまざまなご相談をお受けしていますので、お気軽にご利用ください。

巡回相談の内容

- 初めてハローワークを利用する方については、ハローワークに登録(求職登録)することができます。
- お仕事探しに関するさまざまな相談をすることができます。
- ハローワーク仙台が毎日発行している「求人ホットニュース」をはじめとした新着の求人情報をお持ちします。
- 応募したい求人が見つかった場合には、その場で求人先に連絡して紹介します。

巡回相談スケジュール

実施場所	日程	時間帯
坂元支所	11月14日(水) 11月28日(水)	10:30～12:00
中山熊野堂 仮設住宅集会所	11月14日(水) 11月28日(水)	13:00～14:30
中央公民館	11月21日(水) 12月5日(水)	10:30～12:00
町民グラウンド 仮設住宅集会所	11月21日(水)	13:00～14:30
浅生原東田(北) 仮設住宅集会所	11月16日(金) 11月30日(金) 12月5日(水)	10:30～14:30 ※12月からは隔週水曜日13:00～14:30

☎ ハローワーク仙台 計画職業紹介部門
☎ 022-299-8820

平成24年秋季 全国火災予防運動

く消すまでは
出ない行かない離れない
(平成24年度全国統一防火標語)

この運動は、火災の発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図ることにより、地域の防火意識の向上と火災の発生を防止することを目的として展開

されます。
これからの季節は、空気が乾燥し火災が大変発生しやすいです。火の元には十分注意してください。

●実施期間
11月9日(金)から15日(木)までの7日間

●重点目標
(1)住宅防火対策の推進
(2)放火火災・連続放火火災防止対策の推進

(3)特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
(4)製品火災の発生防止に向けた取り組みの推進

問 亶理地区行政事務組合 総務課
☎ 34-1155

多重債務でお悩みの方はいませんか？

東北財務局では、専門相談

員を配置し、自らの収入で返済できないほどの借金を抱えお悩みの方々からの相談に応じています。
相談者の抱える借金の状況を丁寧にお聞きするとともに、必要に応じて弁護士・司法書士などの専門家に引き継ぎを行っていきます。
相談は無料で秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

対象 多重債務でお悩みの方(自営業者の方も含む)
受付時間 月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 9時～17時45分
場所 東北財務局 金融監督第三課 多重債務相談窓口
仙台市青葉区本町3-3-1
仙台合同庁舎4階
問 東北財務局 金融監督第三課
☎ 022-266-5703

事業者向け 無料経営相談会

東日本大震災によって甚大な被害を受けた中小企業・個人事業者(漁業含む)の皆さんの二重ローン問題対策や円滑な事業の再開・再生に向けた支援を目的に、経営相談窓口を開設していますのでご利用ください。

日時 毎週金曜日 10時～15時
場所 亶理山元商工会 山元事務所2階会議室(役場敷地北側)
※当日は宮城県産業復興相談センターの担当者が相談に応じます。
※ご利用の際は、前日までに左記に予約してください。
問 宮城県産業復興相談センター
☎ 022-722-3858

年金情報



- 日本年金機構では、国民年金保険料の納め忘れの方に対して、電話や個別訪問による納付のご案内や免除等の申請手続きのご案内を民間事業者へ委託しています。県内では、10月1日から下記のとおり委託先が変更となりましたのでお知らせします。
なお、本事業の詳細については、日本年金機構ホームページ(<http://www.nenkin.go.jp/>)を参照願います。

委託事業者名	
平成24年9月30日まで	平成24年10月1日から
日立キャピタル債権回収 ・日立キャピタル共同企業体	キャリアリンク(株)

- ※委託期間は、平成24年10月1日から平成25年1月31日までです。
- 委託事業者は、日本年金機構が発行した納付書により、最寄りの金融機関やコンビニエンスストアでお支払いいただくようご案内します。このため、銀行口座を指定してATMの操作により振り込みをお願いすることはありません。
 - 委託事業者が戸別訪問する場合には、顔写真入りの戸別訪問員証明書(身分証)を提示し、未納の理由が経済的に困難という方には、年金制度の説明を行ったうえで、免除等申請手続きのご案内を行います。
※保険料をお預かりすることはありません。

問 仙台南年金事務所 ☎ 022-246-5114

【お詫びと訂正】

広報10月号の年金情報でお知らせしました内容の一部に下記のとおり誤りがありました。お詫びしますとともに、訂正いたします。
P25年金情報「第3号被保険者の届出」一覧表内
○2段目の被保険者種別 【誤】第3号→第2号⇒【正】第3号→第1号
○2段目の届出先 【誤】勤務先⇒【正】住所地の市区町村
○3段目のこんなとき「本人が就職して厚生年金や共済組合に加入したとき」
・被保険者種別 【誤】第3号→第3号⇒【正】第3号→第2号
・届出先 【誤】第2号被保険者の勤務先⇒【正】勤務先

所得税の 青色決算説明会

青色申告の方(営業所得者)を対象とした青色申告決算説明会を開催します。
なお、平成24年分の決算書については、確定申告書に同封されます。

※消費税の説明も行いますので、青色申告以外の消費税課税事業者の方もご出席ください。

日時 12月11日(火)
14時～16時

場所 亶理町中央公民館 大ホール

※駐車場が混みあいますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

問 仙台南税務署 個人課税部門
☎ 022-306-8001
※音声案内2番を選択してください。

夢いちごの郷営業日 変更のお知らせ

農産物直売所「夢いちごの郷」では、11月1日から来年6月30日まで毎日営業(12月31日～1月2日を除く)します。
営業時間は、今までどおり9時から16時までです。

募集

公営住宅入居募集

なお、いちごの販売は11月中旬からを予定しています。
問 農産物直売所「夢いちごの郷」
☎ 37-111153

募集戸数 藤田住宅 1戸
家賃 所得・部屋に応じて算定します。

敷金 家賃の3カ月分

申込資格

○税金・料金を滞納していない方で、次のすべてに該当する方

○住宅に困っている方(持家を有している方は不可)

○同居親族または、同居しよ

うとする親族のある方(婚姻予約者を含む。ただし、入居日から3カ月以内に

入籍し同居すること)

※60歳以上の方は単身でも可。

(ただし、昭和31年4月1日以前に生まれた方は申し込み可)

○暴力団員でないこと

○入居希望される世帯全員の総所得金額が公営住宅法の基準額(月収15万8千円

(以内であること)

募集期間

11月12日(月)～22日(木)
※土・日・祝日を除き、9時～17時

抽選日 11月30日(金)
13時30分

問 まちづくり整備課 施設管理班
☎ 37-5111(内線782)

宮城野ゴルフクラブ ジュニア教室参加者募集

日時 11月23日(金・祝)
13時～(受付12時30分)～
内容 練習場でレッスンの後、15時から2～3ホールプレー

※運動靴着用
対象者 小・中学生

参加費 無料
指導員 相澤 敏弘プロ

定員 先着20人

問・申 宮城野ゴルフクラブ 事務局 向坂

☎ 38-1101

クリスマス料理教室 参加者募集

■パティシエと作る
クリスマスケーキ

内容 プロパティシエと一緒にクリームチーズ・生クリーム・フルーツを使った「クリスマスケーキ」を作ります。

日時 12月13日(木)
10時～13時

定員 16人

参加費 2300円

■シェフと作る

内容 シェフと一緒にクリスマスや、お正月などに手軽に作れる おもてなし(フレンチ)料理を作ります。

日時 12月19日(水)
10時～13時

定員 16人

参加費 2800円

会場 仙南地域職業訓練センター

※船岡自衛隊駐屯地西側

申込方法 FAXまたは往復ハガキに住所、氏名、希望講座名、連絡先(TEL・FAX)を記入のうえ、訓練センターまで申し込みください。

締め切り 11月15日(木)

受講通知 締切日以降に申込方法(FAX・返信用ハガキ)にてご連絡します。

※申込み多数の場合は、抽選となります。

問・申 仙南地域職業訓練セン

ター

☎ 022-24-57-1501

FAX 022-24-55-1501

求職者支援訓練 受講生募集

コース名 ITビジネス基礎科

訓練内容 パソコン基本操作、ワード・エクセル基礎、簿記など

訓練期間 4カ月

※12月25日(火)
～4月24日(水)

定員 20人

受講料 無料

※テキスト代自己負担

申込期間 10月17日(水)～11月13日(火)

※延長の場合もあります

※居住地を管轄する公共職業安定所を通じてお申し込みください

実施場所 パソコンドクター岩沼教室
岩沼市大手町9-6
第一マサキビル
問 パソコンドクター岩沼教室
☎ 25-2575

休日急患当番医

診療時間 9時～17時

※休日における当番医は、急患患者の医療業務のみを目的として実施していますのでご協力をお願いします。なお、休日当番医は変更になることもありますので、新聞などで確認のうえ受診してください。

- 11/11 (日)
- ◆ 亘理整形外科 (亘理町) ☎34-5303
 - ◆ 松本歯科医院 (山元町) ☎37-3771
 - ◆ おおぬき歯科 (名取市) ☎022-383-9310

- 11/18 (日)
- ◆ 大友医院とロミ小児科 (亘理町) ☎34-3204
 - ◆ 木内歯科医院 (岩沼市) ☎22-2627

- 11/23 (金・祝)
- ◆ 山形外科医院 (亘理町) ☎34-3171
 - ◆ 大宮歯科医院 (名取市) ☎022-382-2537
 - ◆ 鳥の海歯科医院 (亘理町) ☎32-1088

- 11/25 (日)
- ◆ 菊地内科医院 (山元町) ☎37-3300
 - ◆ 大友歯科医院 (岩沼市) ☎24-3151

- 12/2 (日)
- ◆ 佐藤外科内科 (亘理町) ☎34-1251
 - ◆ 星歯科医院 (名取市) ☎022-384-7008
 - ◆ 山形歯科クリニック (亘理町) ☎34-2133

- 12/9 (日)
- ◆ 高橋内科乳癌クリニック (亘理町) ☎33-1121
 - ◆ 高藤歯科医院 (岩沼市) ☎22-2666

注) 疾患や年齢等によっては対応できない場合もありますのでご了承ください。

やまもと健康だより

問 保健福祉課 健康推進班
☎37-1113 (内線132・133)

実施場所: 保健センター

事業名	月 日	対象者等	受付時間
母子関係	母子手帳交付	11月19日(月) 12月 3日(月)	山元町に住所のある 妊婦
	3～4カ月児健診	12月 5日(水)	平成24年7月4日 ～9月5日生まれ
	1歳1～2カ月児健診	12月 5日(水)	平成23年10月 ～11月生まれ
	6～8カ月児健診	11月30日(金)	平成24年3月 ～5月生まれ

【注意】 不活化ポリオ予防接種の導入に伴い、平成24年度母子保健事業予定表でお知らせしていました11月9日(金)・20日(火)のポリオ集団予防接種は実施しません。

献血のお知らせ

下記日程で献血を実施しますので、ご協力をお願いします。

■ 12月4日(火)

- ◇ 10時00分～12時00分 榊北村製作所 宮城工場
- ◇ 13時30分～16時00分 岩機ダイカスト工業株

問 保健福祉課 健康推進班 ☎37-1113 (内線139)

水道休日当番

- 11/11 (日) ◆ 榊クリワダ ☎37-0013
- 11/18 (日) ◆ 榊佐藤設備 ☎37-4165
- 11/23 (金・祝) ◆ 榊佐藤設備 ☎37-4165
- 11/25 (日) ◆ 榊針生設備工業 ☎37-2452
- 12/2 (日) ◆ 榊松村工業所 ☎38-0558
- 12/9 (日) ◆ 榊ヤマムラ ☎38-0150

複数の修理が入っている場合はすぐに対応できないことがありますので、ご了承ください。

問 上下水道事業所 施設班
☎37-1120

赤ちゃんの写真大募集!!

このコーナーに自慢のお子さん・お孫さんの写真を掲載してみませんか?

○町内にお住まいで

1歳未満であればOKです。なお、平成23年3月11日から平成24年4月30日までに1歳のお誕生日を迎えたお子さんについても掲載が可能です。

○お気に入りの写真をご持参ください。

○メールでの申し込みでもOKです! ※ご両親の氏名、お子さんの氏名・生年月日・住所・電話番号・お子さんへのメッセージを記入のうえ、写真を添付してお申し込みください。

(注) 画像が粗くなりますので、携帯電話で撮影したものはご遠慮ください。

問・申 総務課 総務班
☎37-1111 (内線218)
メールアドレス
info@town.yamamoto.miyagi.jp

11 日 月 火 水 木 金 土
1 2 3
4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17
18 19 20 21 22 23 24
25 26 27 28 29 30 ...
... ..

情報局やまもと

Information

11月15日から12月14日まで

12 日 月 火 水 木 金 土
1
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29
30 31

今月の相談

- ◆ 青少年相談 11月19日(月)
青少年の非行防止のため、問題を抱える青少年や親との相談
- ◆ 登記相談 12月11日(火)
土地や建物の名義書き換えなど、登記に関する相談
- ◆ 消費生活相談 12月12日(水)
商品の安全、品質または訪問販売・債務などに関する相談
※水曜日を除く、平日9時～16時にも相談できます

- ◆ 行政苦情相談 12月14日(金)
国や県、町などが行っている仕事についての要望や苦情相談
- ◆ 生活相談 11月21日(水)
生活、家庭、老後などに関する困りごと、悩みごと相談
- ◆ 人権相談 11月15日(木)
人権侵害、夫婦、親子間のトラブルや、いじめなどの相談
- ◆ 年金相談 12月13日(木)
国民年金、厚生年金など年金に関する相談
※11月は22日(木)に日程を変更しています。

場所 役場仮庁舎 第1相談室(1階) 時間 13時～15時 問 町民生活課 生活班 ☎37-1112 (内線121)

- ◆ 健康相談 12月3日(月) 13時30分～16時
生活習慣予防を中心に、健康づくりに関すること、保健師・栄養士が相談に応じます。
- ◆ 育児相談 12月3日(月) 10時～11時30分
育児相談にあわせて臨床心理士による発達相談を行います。希望者は事前に電話で申し込みください。(発達相談は年4回実施予定です)
- ◆ 精神保健相談 12月7日(金) 10時～11時30分
心の悩みに伴う無気力や不眠など心身の不調、認知症、アルコール関連相談など、精神科医によるこころの相談を行っています。詳しくは電話でお問い合わせください。

場所 保健センター 問 保健福祉課 健康推進班 ☎37-1113 (内線131)

※相談者が重複するとお待ちいただく場合がありますので、事前の電話予約が便利です。

連載

消費生活・これだけは知っておこう!

第63回「暖房器具を使う前に点検しましょう!」

寒くなりましたね。もう暖房器具を使っていますか?
石油給湯器・石油風呂釜・FF式石油温風暖房器・ガス瞬間湯沸かし器などは、コードの劣化などにより思わぬ大事故に繋がることもあります。長期にわたって使用していなかった器具などを使用し始める際には、必ず点検しましょう!

また、長い間電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておいませんか? 隙間に溜まったホコリが原因で発火することもありますので、定期的に確認することも大切です。延長コードを使って不適切な接続のまま電気器具を常時使っていないか、コードが傷んでいないか、異音や異臭・熱などの「故障の前兆」が出ていないかなど、安全に使うために点検してみてください。

また、リコールが出されている暖房機器もありますので、「大丈夫かな?」と思ったらメーカーや販売店などに問い合わせしてみてください。

問 町民生活課 生活班 ☎37-1112 (内線123)
役場消費生活相談窓口 水曜日を除く、平日9時～16時

りんごラジオ

毎日放送中!

FM 80.7MHz

放送時間

- ・月～金: 8時～18時
- ・土～日: 10時～16時

※9時・12時・17時に町の情報をお知らせいたします。

☎0223-29-4772

ringoradio@gmail.com

情報をお待ちしています。
どしどしお寄せください!

同校校舎は、1987年（昭和62年）に完成し、地域とともに25年の歴史を刻んできましたが、昨年の東日本大震災による津波で2階建て校舎の1階部分が浸水。その後の文部科学省による被災状況調査

の結果、原形復旧は不適当と判断され、取り壊しが決定していたものです。当日は、山下第二小の児童や学校・町関係者、保護者、同校の卒業生など約300人が参加。開会にあたり、渡辺孝男校長は「校舎が無

さよなら 山下第二小校舎 別れを惜しみ「お別れ会」



先月19日（金）、山下第二小の校舎前で、解体工事を前に「校舎お別れ会」が開催されました。



児童代表でこれからの誓いを述べた3人

くなくても、ここで過ごした楽しい思い出が無くなるわけではありません。楽しい出来事や友達との思い出は、ずっとこれからみんなの大きな宝物になっていくと思います」とあいさつ。

続いて、同校児童を代表し、6年生の川村茉莉さん（花笠区）、菊地玲美さん（笠野区）の3人が「大人になってもこの校舎のことは忘れません。私たちはこの校舎で過ごしてきたたくさんさんの思い出を胸に、これから頑張っていく予定です！本当にありがとうございました」と感謝の気持ちとこれからの誓いの言葉を述べました。また、平成2年度卒業生の佐藤章子さんは「木がたくさん使われ、明るい雰囲気、温かい雰囲気、のすくすくいい校舎でした」



校舎を前に、元気いっぱい校歌を歌う児童たち

と当時を振り返りました。そして、お別れ会の締めくくりには、参加者全員で校歌を斉唱し、思い出のいっぱい詰まった校舎に最後の別れを告げました。お別れ会に駆けつけた同校校歌作詞者の渡邊清さん（花笠区）は本校舎での最後の校歌を聴き、「感無量。校舎が無くなるのはとても寂しい」と感慨深げの表情を浮かべていました。

お別れ会終了後には、校舎内が開放され、訪れた方々は校舎内を回りながら、思い出の場所での思い出話を花を咲かせたり、涙ぐんだりする姿が各所で見られました。

この日訪れた渡邊正俊さん（花笠区）は、「被災した自宅が解体された時は何とも思わなかったのに、この学校が無くなるのは何とも言えない切ない気持ち」と校舎内を名残惜しそうに見渡しなが、今の心境を漏らしていました。

なお、現在、町教育委員会では、一日も早い教育環境整備に向け、学校のあり方・学校の再編等について検討しており、山下第二小についても今年度内に統合または再建などの結論が出されることになっています。

人口の動き

9月末現在【前月比】

世帯 4,789戸【△12戸】

男 6,820（15）人【△22人】

女 7,112（28）人【△21人】

合計 13,932（43）人【△43人】

出生	6人	転入	30人
死亡	15人	転出	64人
婚姻	6件		

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正により、外国人住民も住民基本台帳の記載対象となりました。上記（ ）内は、うち外国人住民の値となります。

編集・発行/山元町役場総務課

〒989-2292 宮城県亘理郡山元町浅生原字作田山32 ☎0223-37-1111

ホームページアドレス <http://www.town.yamamoto.miyagi.jp>

携帯サイトアドレス <http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/k>

eメールアドレス info@town.yamamoto.miyagi.jp

この「広報やまもと」は1部当たり約51円です。

印刷所/ベナントコーポレーション ☎022-384-4547



QRコード読みとり機能付きのカメラ付携帯電話で左記のコードを読みとると簡単にサイトにアクセスできます。